

## 一九二〇年以降の住友財閥の金融

——財閥企業と財閥金融機関の關係——

麻 島 昭 一

一 はしがき

二 分析方法

三 戦間期の住友財閥各社と金融機関の關係

(一) 預金等

(二) 借入等

四 戦時体制期の住友財閥各社と金融機関の關係

(一) 預金等

(二) 借入等

五 むすび

一 はしがき

本稿の目的は、拙著『戦間期住友財閥経営史』（東京大学出版会、昭和五八年）で果しえなかった課題、すなわち住友財閥内における金融機関の役割を説明することにある。拙著はこの問題にまったくふれなかったわけではな

く、内部資料で証明しうる範囲に限定しての分析であった。<sup>(1)</sup> また、住友銀行を三井銀行と対比させて、財閥銀行の役割に言及してもいる。<sup>(2)</sup> しかし住友における財閥企業と財閥金融機関との関係を時系列的にも、財閥全体を含めた総合的にも考察しえたわけではなく、部分的考察にとどまったことは否定できない。したがって本稿は前著における財閥企業と財閥金融機関の関係を掘下げ、追加・補充することを意図している。

さらに、その後の筆者の研究が進展するにともない、本稿の問題意識には次の事情が加わることになった。住友財閥に考察対象を限定した前著の分析結果を財閥研究全体の中に位置づけるためには、同様な分析視角と方法によって他財閥も斬り、比較検討が必要と考えた。拙著『三菱財閥の金融構造』(御茶の水書房、昭和六一年)は、比較を意図して三菱の場合を分析したものである(以下、二つの拙著につき、住友の分析を「前著」、三菱の分析を「続著」と略す)。「続著」においては、内部資料に依拠できた住友の分析とは異なり、既刊資料に依拠せざるをえなかったが、反面、「前著」では不十分にしか解明できなかった二つの課題を、逆に詳細に追求するという特徴があった。すなわち、資金調達からみた株式公開の問題、財閥企業と財閥金融機関との関係の問題、がそれである。そこでは既刊資料依存という制約下において、筆者なりの分析方法を試みた結果、一応の結論をえた。それが住友の分析では未着手の問題である以上、三菱で判明した事柄について住友ではどうか、という疑問が湧くのは当然であろう。本稿はかかる経緯から、「続著」でおこなった二つの問題を住友に適用する作業の一つである。「資金調達からみた株式公開」の課題については別稿<sup>(3)</sup>を用意し、「財閥企業と財閥金融機関との関係」の解明が本稿という分担である。

(1) 拙著『戦間期住友財閥経営史』では、住友合資会社作成の「實際報告書」等の内部資料に依存しての分析をおこなっ

た。したがって資料の残存状況による時期限定もある。詳しくは同書序章「本書の課題と分析方法」を参照されたい。

(2) 同右、第三部第二章第二節借入・預金が本稿に先行する考察であるが、とくに「三 住友銀行の財閥内での役割」(五七二頁以下)で三井銀行との比較を試みている。

(3) 拙稿「住友財閥の株式公開」『専修経営学論集』第四三号、昭和六二年三月(予定)。

## 二 分析対象と方法

本稿の分析対象企業は、住友合資会社(のち住友本社)と連系会社すべてであり、傍系会社のうち日本電気、日本板硝子の二社を参考として加える。対象は住友財閥全体と称して差支えなからう。住友系金融機関としては住友銀行、住友信託、住友生命保険、扶桑海上火災保険があり、生命と海上保険は買収されて途中から連系会社となるが、銀行、信託は当初からである。

もともと財閥企業と財閥金融機関との関係といえば、右の対象企業間のすべてを問題とすべきであるが、現実には資料的制約もあり分析内容も若干限定されざるを得ない。すなわち、財閥企業側からいえば財閥金融機関にいかなる財務的関係をもったか、銀行へは預金、信託へは金銭信託、保険会社へは保険契約の有無が検討され、それら金融機関からの借入その他の信用受入れの有無が問題となる。しかし、財閥保険会社に財閥企業および役員がいくら保険契約を結んだかは、きわめて実証が困難である。また、損保の場合、資金運用としての貸付額は比較的小さいから、考察から除外しても大過はあるまい。とすれば具体的に本稿で検討に意義があり、かつ一応可能なのは、財閥企業が銀行、信託に預けた資金額、銀行、信託、生保から供与された信用規模(借入等)の検討ということになる。

これを金融機関側から表現し直せば、住友銀行が集積した預金のうちに財閥各社分がどれだけ含まれていたか、住友信託が吸収した金銭信託のうち財閥各社分はどれだけか、また、銀行、信託（固有・信託両勘定）、生保の貸出のうち、財閥各社に対する分はどれだけか、を説明することになる。このような問題はきわめてプリミティブな疑問であるにもかかわらず、従来の財閥史研究では不問のままであった。しかし財閥金融機関の役割の解明には、財閥内への依存度の解明は不可欠であり、財閥企業の資金需給——財閥の金融構造の把握につながる。

以下の考察では、預金、金銭信託を含めた場合を「預金等」、借入金、支払手形、割引手形、当座借越などを含めた場合を「借入等」と表現しておく。しかし住友財閥の場合、「借入等」の一部分は内部資料によって判明するが「預金等」はほとんどその実態を明らかにしえない。三菱財閥の場合は、「預金等」「借入等」の双方ともその内容を明らかにできないため、推定作業を試みた。すなわち、三菱財閥各社の貸借対照表から各社の預金等、借入等の残高を摘出し、それを合計することによって三菱財閥全体のそれらを推定し、その規模が三菱系金融機関の預、貸金全体に占める比重を試算し、三菱系金融機関の三菱系企業に対する依存度をみた。もちろん三菱系企業の「預金等」「借入等」がすべて三菱系金融機関に対してであったという保証はなく、現に財閥外に依存する事例もあった。したがって内部資料がない以上、右の試算は、すべて三菱系金融機関に対するものと仮定した、いわば上限値を意味し、真実は上限値以下のどこかに存するはずである。本稿では三菱財閥で試みた推定作業を住友財閥にも適用してみる。両財閥を比較するためには、同一方法こそ比較可能性を増すと考えるからである。

要するに、本稿の分析方法は三菱を対象とした「続著」と同様であるが、次の点で一步前進を試みている。住友の場合も三菱と揃えて公表資料による分析作業をおこなったが、前述のごとく実は「借入等」について一部ではあるが実態が内部資料で判明している。すくなくともその部分に関しては、公表資料による試算と実態との比

較検証が可能である。したがって「続著」と本稿で適用した推定作業の、いわば効果について示唆が得られるはずである。

また、「前著」の住友の分析では、内部資料に制約されて昭和一六（一九四一）年ごろまでに対象時期が限定された。本稿では公表資料によるので、敗戦時ごろまで延長することにした。太平洋戦争期こそは、三菱、住友両財閥にとって、大膨張のため巨額の資金調達が必要な時期であって、内部資料に依存できなくても、なんらかの方法を講じて試算したいからである。

### 三 戦間期の住友財閥各社と金融機関の関係

#### （一）預金等

住友財閥全体の「預金等」といえば、住友合資会社・傘下会社のそればかりでなく、住友家、住友系企業の役員、職員のそれまで含めることが望ましい。三菱の岩崎家の場合もそうであったが、住友家の場合も預託可能性が想像されても実証にいたらない。本稿でも公表資料に依拠するため、住友合資会社、連系会社（ただし金融機関を除く）、傍系会社（二社）、金融機関に限定せざるをえない。

#### （1）住友合資会社・連系会社の「預金等」

各社の営業報告書に記載された「預け金」を整理したのが第1表である。×印が多くみられるが、「現預金」の表示であって預け金と現金が分離できない。しかし手許現金は通常の場合それほど多額ではないから、「現預金」の大部分は預け金とみてよからう。本稿では、とくに断わらない限り「現預金」を預け金とみなして処理する。第1表によれば、合資会社成立ごろの預金は、製鋼所、電線製造所の直系二社と、住友が関与して設立されて

企 業 の 預 金

(単位：千円)

| 住友倉庫<br>(12月) | 土佐吉野川水力電気<br>(12月) | 大阪北港<br>(12月) | 住友ビルディング<br>(12月) | 小計     | 住友倉庫<br>合資会社<br>(12月) | 計        | 日本電気<br>(11月) | 日本板硝子<br>(12月) |       |       |
|---------------|--------------------|---------------|-------------------|--------|-----------------------|----------|---------------|----------------|-------|-------|
|               |                    |               |                   | 486    | ?                     | 486      | 3,744         |                |       |       |
|               | 224                | (500)         |                   | 1,719  | 1,612                 | 3,331    | 1,876         |                |       |       |
|               | 235                |               |                   | 1,090  | 2,115                 | 3,205    | 3,833         | 35             |       |       |
| 35            | 246                |               |                   | 3,171  | ?                     | (3,171)  | 2,946         | 132            |       |       |
| 17            | 258                |               |                   | 5,198  | ?                     | (5,198)  | 4,806         | 122            |       |       |
| 18            | 271                | (85)          |                   | 8,537  | ?                     | (8,537)  | 4,154         | 385            |       |       |
| 23            | 285                | (217)         |                   | 8,962  | ?                     | (8,962)  | 2,019         | 480            |       |       |
| 53            | 13                 | 177           |                   | 10,464 | ?                     | (10,464) | 2,551         | 302            |       |       |
| 41            | 31                 | 883           |                   | 10,970 | 612                   | 11,582   | 1,841         | 524            |       |       |
| ×             | 86                 | 10×           | 852               | 11,910 | 1,333                 | 13,243   | 1,335         | 484            |       |       |
| ×             | 109                | 8×            | 366               | 13,045 | 1,693                 | 14,738   | 1,493         | 695            |       |       |
| ×             | 125                | 4×            | 426               | ×      | 13                    | 11,056   | 3,393         | 14,449         | 434   | 603   |
| ×             | 64                 | 1×            | 596               | ×      | 20                    | 12,445   | 4,103         | 16,548         | 687   | 625   |
| ×             | 101                | 5×            | 1,477             | ×      | 9                     | 13,866   | 4,639         | 18,505         | 782   | 1,553 |
| ×             | 50 <sup>4)</sup>   | 24×           | 1,604             | 114    | 17,511                | 5,932    | 23,443        | 2,164          | 4,766 |       |
| ×             | 27                 | 28×           | 1,576             | 6      | 20,847                | 24,491   | 45,338        | 2,021          | 6,382 |       |
| ×             | 64                 | 61×           | 1,740             | 3      | 22,518                | 8,804    | 31,322        | 1,509          | 3,748 |       |

2)昭9.2住友化学工業と改称, 3)昭5.4住友炭鉱と住友九州炭鉱が合併し, 住友

千円未満切捨て。大阪北港の( )内は, 連系会社指定前で小計に含まず。計の

1920年以降の住友財閥の金融

第1表 住友系

|                  | 住友<br>製鋼所<br>(12月) | 住友伸<br>銅鋼管<br>(12月) | 住友<br>電線<br>製造所<br>(12月) | 住友肥<br>料製造<br>所 <sup>2)</sup><br>(12月) | 住友機<br>械製作<br>所<br>(12月) | 住友ア<br>ルミ<br>ウム製<br>錬<br>(12月) | 満洲住<br>友鋼管<br>(12月) | 住友別<br>子鉱山<br>(12月) | 住友炭<br>鉱<br>(12月) | 住友九<br>州炭<br>鉱<br>(12月) |     |       |     |
|------------------|--------------------|---------------------|--------------------------|----------------------------------------|--------------------------|--------------------------------|---------------------|---------------------|-------------------|-------------------------|-----|-------|-----|
| 大 9              | 460                | —                   | ×                        | 26                                     | —                        | —                              | —                   |                     |                   |                         |     |       |     |
| 10               | 1,200              | —                   | ×                        | 295                                    | —                        | —                              | —                   |                     |                   |                         |     |       |     |
| 11               | 534                | —                   | ×                        | 321                                    | —                        | —                              | —                   |                     |                   |                         |     |       |     |
| 12               | 2,200              | —                   | ×                        | 690                                    | —                        | —                              | —                   |                     |                   |                         |     |       |     |
| 13               | 2,693              | —                   | ×                        | 2,230                                  | —                        | —                              | —                   |                     |                   |                         |     |       |     |
| 14               | 3,140              | —                   | ×                        | 4,947                                  | 161                      | —                              | —                   |                     |                   |                         |     |       |     |
| 昭元               | 3,836              | ×                   | 183                      | ×                                      | 4,545                    | 90                             | —                   |                     |                   |                         |     |       |     |
| 2                | 4,751              | ×                   | 77                       | ×                                      | 5,393                    | —                              | —                   |                     |                   |                         |     |       |     |
| 3                | 4,752              | ×                   | 502                      | ×                                      | 4,321                    | 19                             | —                   |                     | 326               | 71 24                   |     |       |     |
| 4                | ×                  | 5,455               | ×                        | 186                                    | ×                        | 5,084                          | —                   | ×                   | 194               | ×                       | 43  |       |     |
| 5                | ×                  | 6,043               | ×                        | 126                                    | ×                        | 6,193                          | —                   | ×                   | 125 <sup>3)</sup> | ×                       | 75  |       |     |
| 6                | ×                  | 4,838               | ×                        | 201                                    | ×                        | 5,120                          | —                   | ×                   | 96                | 233                     |     |       |     |
| 7                | ×                  | 4,486               | ×                        | 2,312                                  | ×                        | 4,392                          | —                   | ×                   | 498               | 76                      |     |       |     |
| 8                | ×                  | 1,750               | ×                        | 4,250                                  | ×                        | 5,156                          | —                   | ×                   | 936               | 182                     |     |       |     |
| 9                | ×                  | 823                 | ×                        | 4,510                                  | ×                        | 4,219                          | 111                 | ×                   | 1,638             | 2,500                   | ×   | 1,790 | 128 |
| 10 <sup>1)</sup> | ×                  | 8,597               | ×                        | 4,921                                  | 233                      | 954                            | 286                 | 982                 | ×                 | 3,055                   | 182 |       |     |
| 11               | ×                  | 7,652               | ×                        | 7,414                                  | 300                      | 1,838                          |                     | 381                 | ×                 | 2,685                   | 380 |       |     |

- (備考) 1. 1)昭10.9住友製鋼所と住友伸銅鋼管が合併し、住友金属工業と改称、炭鉱と改称、4)昭9.5四国中央電力と改称
2. 住友合資は「實際報告書」、他社はそれぞれの営業報告書による。  
( )内は合資会社の計数不詳のため、過小と思われる。
3. ×印は預け金と現金が合算されており、分離不能。

間もない土佐吉野川水力電気（電力と略す）と大阪北港の二社と、合資会社しかなく、合資会社の金額がもつとも大きい。電力は会社が成立しながら認可未達のため開業にいたらず、払込資本金がそのまま預金されていたためであり、北港も払込資本金の未使用分と推測され、のちに新設された機械、満洲鋼管も同様に未使用分と思われ、いずれもやや特殊なケースと考えられる。以後、時代が下るにつれ、次々と事業会社が増加し、各社名義の預金が昭和期に入ると一、〇〇〇万円台、昭和一〇年代には二、〇〇〇万円をこえることになる（ただし、各社預金の合計額は論理性を欠き、大勢を示すにすぎない）。その中で多額の預金を擁したのは、製鋼、電線、伸銅鋼管であり、一一年ごろは金属、電線を先頭に機械、別子鉦山、大阪北港が続いている。住友合資会社の計数が途中不明なのが残念であるが、準戦時体制期から増加がいちじるしい。昭和一〇年の多額の預け金は、住友金属株式を売却して多額の資金を得たためである。公表資料に依存する限り、これら預金の預け先を明らかにすることはできず、漠然と住友銀行ではないかと想像するにとどまる。日本電気は昭和七年に住友の経営に移るが、それまで預金は意外に多い。経営不振が表面化する昭和六、八年は余裕がないためか預金もすくないが、経営回復とともに預金残高も旧に復している。また、日本板硝子も昭和四年に復配し、八年に住友銀行借入を完済するところから余裕を生じたためか、にわかに預金残高が増加している。

住友財閥に関しては、幸いなことに前著で連系会社から合資会社への預け金の存在を明らかにすることができた。そこで第2表では、公表上の預け金から合資会社への預け金を控除してみると、次の事実を指摘することができる。

第一に、連系会社の預け金（E）のうち、合資会社に対する分（D）の比重は、きわめて高率である（D/E）。大正一三年以前と昭和九、一〇年が資料的制約のため判明しないが、判明した期間でいえば、連系会社の余裕金

第2表 連 系 会 社 預 け 金 内 訳

(単位:千円)

|    | 住 友 製 鋼 所   |       | 住 友 電 線 製 造 所 |     | そ の 他<br>(C) | 計(D)<br>(A+B+C) | 連系会社預け金 |        | D/E<br>(%) |
|----|-------------|-------|---------------|-----|--------------|-----------------|---------|--------|------------|
|    | うち本社<br>(A) | 差引    | うち本社<br>(B)   | 差 引 |              |                 | 合計(E)   | E-D=F  |            |
| 大  | 460         |       | 26            |     | 示 明          | 示 明             | 486     | 示 明    |            |
| 9  | 1,200       |       | 295           |     |              |                 | 1,719   |        |            |
| 10 | 534         |       | 321           |     |              |                 | 1,090   |        |            |
| 11 | 2,200       | 示 明   | 690           |     |              |                 | 3,171   |        |            |
| 12 | 2,693       |       | 2,230         |     |              |                 | 5,198   |        |            |
| 13 | 3,140       | 2,800 | 4,947         |     |              | 5,400           | 8,537   | 3,137  | 63.3       |
| 14 | 3,836       | 3,200 | 4,545         |     |              | 6,000           | 8,962   | 2,962  | 66.9       |
| 昭  | 4,751       | 4,250 | 5,393         |     |              | 7,550           | 10,464  | 2,914  | 72.2       |
| 元  | 4,752       | 4,300 | 4,321         |     |              | 8,450           | 10,970  | 2,520  | 77.0       |
| 2  | 5,455       | 4,700 | 5,084         |     |              | 9,000           | 11,910  | 2,910  | 75.6       |
| 3  | 6,043       | 5,400 | 6,193         |     |              | 11,550          | 13,045  | 1,495  | 88.5       |
| 4  | 4,838       | 4,700 | 5,120         |     |              | 10,310          | 11,056  | 746    | 93.3       |
| 5  | 4,486       | 4,500 | 4,392         |     |              | 10,480          | 12,445  | 1,965  | 84.2       |
| 6  | 1,750       | 1,370 | 5,156         |     |              | 10,480          | 13,866  | 3,386  | 75.6       |
| 7  | 823         |       | 4,219         |     |              | ?               | 17,511  | ?      |            |
| 8  |             |       | 4,921         |     |              | ?               | 20,847  | ?      |            |
| 9  |             |       | 7,414         |     |              | 11,840          | 22,518  | 10,678 | 52.6       |
| 10 |             |       |               |     |              |                 |         |        |            |
| 11 |             |       |               |     |              |                 |         |        |            |

(備考) 第1表および拙著『戦間期住友財閥経営史』第172表および179表より計算のうえ作成。

は預け金の形で財閥本社に吸上げられていたことを意味する。昭和六年の九三%強にいたっては、余裕金のほばすべてというに近い。

第二に、余裕金の吸上げは時期によってニュアンスの差がある。すなわち、大正末期（六三%）から次第にD/Eは上昇して昭和六年にピークに達し、準戦時体制期に入ると下降して一年には五三%に落ちる。前者で指摘している通り、戦時体制へ向けて財閥本社 of 資金統轄機能が低下していくことの反映である。

第三に、右の余裕金吸上げは、連系会社全体にくまなくおこなわれたわけではなく、製鋼、電線など、少数会社を中心である。代表的二社を第2表に掲記したが、二社だけで大部分を占める年が多い。それ以外の会社を強いて挙げれば、好況局面に入ってから伸銅鋼管（昭和七、八年）と毎年事業収支に余剰を生ずる大阪北港が余裕金の提供者であった。製鋼、電線でみるように、本社への吸上げは二八〇万円のごとく端数のつかぬラウンドナンバーであって、日常的な激しい資金の出入ではない、と推測される。

第四に、連系会社の預け金から、右の対合資会社分を控除したもの（F）こそ、金融機関への預金と想像される。F欄でみる通り、金額はすくなく、かつ変動的である。しかし準戦時体制の末期から増大の傾向にあり、本社への吸上げが弱まったことと表裏の関係と思われる。この金融機関こそ住友銀行とみられる。

もちろん厳密に言えば、連系会社の金融機関への預金がすべて住友銀行と断定はできない。たとえば財産目録によれば、住友倉庫の「銀行預け金」に「住友銀行及加島銀行当座預金」の表示があり、大阪北港の「諸預け金」に「住友銀行当座預金他二口」の表示があった。右の二例は、住友銀行への預金を裏付けるとともに、他行あるいは他種機関への預金をも裏付けている。他の傘下会社の財産目録には相手先の記載がないため知りえないが、住友銀行のほか他行が並用される可能性が多少残るであらう。

第3表 住友系金融機関の預金（戦間期）

（単位：千円）

|      | 住友信託          |               | 住友生命<br>(12月) | 扶桑海上<br>火災保険<br>(12月) | 計 (A)  | 住友銀行以外へ預金 (B) |       | A - B = C | C / A |
|------|---------------|---------------|---------------|-----------------------|--------|---------------|-------|-----------|-------|
|      | 固有勘定<br>(11月) | 信託勘定<br>(11月) |               |                       |        | 住友信託          | 住友生命  |           |       |
| 大 12 | —             | —             | (2,578)       | (1,000)               | —      | —             | —     | —         | —     |
| 13   | —             | —             | (3,305)       | (1,771)               | —      | —             | —     | —         | —     |
| 14   | 74            | 384           | 2,494         | (2,410)               | 2,952  | ?             | 1,184 | (1,768)   | 59.9  |
| 昭 元  | 368           | 505           | 1,856         | (2,317)               | 2,729  | ?             | 855   | (1,874)   | 68.7  |
| 2    | 414           | 1,163         | 1,801         | (1,850)               | 3,378  | 2             | 744   | 2,632     | 77.9  |
| 3    | 380           | 3,671         | 2,568         | (2,773)               | 6,619  | 7             | 1,107 | 5,505     | 83.2  |
| 4    | 450           | 2,769         | 2,982         | (1,271)               | 6,201  | 3             | 1,065 | 5,133     | 82.8  |
| 5    | 525           | 5,610         | 2,057         | 1,222                 | 9,414  | 5             | 648   | 8,761     | 93.1  |
| 6    | 821           | 4,754         | 2,164         | 1,768                 | 9,507  | 1,171         | 601   | 7,735     | 81.4  |
| 7    | 855           | 6,540         | 2,794         | 1,638                 | 11,827 | 4,169         | 830   | 6,828     | 57.7  |
| 8    | 730           | 6,955         | 1,568         | 2,261                 | 11,514 | 4,478         | 411   | 6,625     | 57.5  |
| 9    | 1,205         | 10,022        | 1,455         | 1,638                 | 14,320 | 3,789         | 347   | 10,184    | 71.1  |
| 10   | 1,891         | 11,585        | 1,645         | 2,365                 | 17,486 | 5,991         | 338   | 11,157    | 63.8  |
| 11   | 1,178         | 8,316         | 2,291         | 2,873                 | 14,658 | 2,243         | 341   | 12,074    | 82.4  |

(備考) 1. 各社の営業報告書より作成。

2. ( ) 内は住友に経営が移る前で参考のため掲げた。したがって計には含まれていない。

昭和1920年以降の住友の経営

次に、非營業的というべき特殊目的の預託であるが、連系会社で戦間期にそれらしきものをみいだすことはできない。三菱では、従業員貯蓄を各職場から本社に集中する制度（大正一一年廃止決定）があったし、戦間期に従業員のための退職手当基金、福祉増進基金などが金融機関に預託される事例がすくなくない。住友では公表資料に依拠する限り、右のいずれもみいだせない。退職金制度にしても本社・連系会社一括した制度であり、その管轄は本社部門の問題であって、各社には無関係だったからであらう。三菱では、かかる基金類が三菱銀行の預金だけでなく、三菱信託の金銭信託に預託される事例があった。しかし住友では、連系会社で住友信託に金銭信託を委託した例がみいだせず、住友合資会社が昭和一一年末に約八九万円の金銭信託残高を有した事実のみである。

## (2) 金融機関の預金等

住友系金融機関が営業の都合上、資金を銀行に預金し、信託会社に金銭信託とすることはありえよう。

まず、各社の預金は第3表のごとくである。住友信託では昭和一〇年にいたるまで大体増加傾向にあり、とくに信託勘定における預金は生命、海上保険より多額になっていく。その内容は、九十数%まで金銭信託で吸収した資金の運用によるものである。<sup>(4)</sup> 預け先は公表資料では知りえないが、内部資料によって次のように明らかにすることができる。

住友信託の信託勘定による預け金は、第4表にみる諸銀行に対してであった。住友銀行が創業以来昭和五年まで一〇〇%に近く、同行支配下の和歌山倉庫、佐賀百六両行にわずかな金額があったにすぎない。昭和六年から日銀に同社本店が当座勘定を開設、のち東京支店も開設、当座預金残高は一〇〇万円台、時には二〇〇万円をこえることもあった。また、昭和七、一〇年には横浜正金銀行へ二五〇、三五〇万円の通知預金をした事実もあ

第4表 住友信託の預金先(戦間期)

(単位:千円)

| 銀行名           | 大<br>14/11 | 15/11 | 昭2/11  | 3/11   | 4/11   | 5/11   | 6/11   | 7/11   | 8/11   | 9/11   | 10/11  | 11/11  |
|---------------|------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 住友銀行<br>和歌山倉庫 | 385        | 506   | 1,210  | 3,665  | 2,769  | 5,606  | 3,584  | 2,373  | 2,567  | 6,333  | 6,014  | 6,074  |
| 佐賀百六          |            |       | 1      | 2      | 3      | 5      | 8      | 10     | 5      | 8      | 11     | 7      |
| 日本            |            |       |        | 5      |        |        | 1,163  | 1,159  | 883    | 1,181  | 2,057  | 2,232  |
| 横浜正金          |            |       |        |        |        |        |        | 3,000  | 3,500  | 2,500  | 3,500  |        |
| 三州平和          |            |       |        |        |        |        |        |        |        | 1      | 3      | 4      |
| 信託勘定          |            |       |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 住友銀行<br>日本    | 75         | 368   | 368    | 360    | 451    | 525    | 822    | 853    | 640    | 1,106  | 1,469  | 1,178  |
|               |            |       |        |        |        |        |        |        | 90     | 100    | 423    | 1      |
| 合計(A)         | 460        | 874   | 1,579  | 4,032  | 3,220  | 6,136  | 5,577  | 7,395  | 7,685  | 11,228 | 13,474 | 9,494  |
| 住友銀行(B)       | 460        | 874   | 1,578  | 4,025  | 3,217  | 6,131  | 4,406  | 3,226  | 3,207  | 7,439  | 7,483  | 7,251  |
| (B/A %)       | (100)      | (100) | (99.9) | (99.8) | (99.9) | (99.9) | (79.0) | (43.6) | (41.7) | (66.3) | (55.5) | (76.4) |
| その他銀行         |            |       | 1      | 7      | 3      | 5      | 1,171  | 4,169  | 4,478  | 3,789  | 5,991  | 2,243  |

(備考) 住友信託「業務報告書」より計算のうえ作成。

第5表 住友信託の預金種類別

(単位：千円)

|      | 種 目     | 昭2/下  | 7/下   | 11/下  |
|------|---------|-------|-------|-------|
| 信託勘定 | 当 座 預 金 | 1,109 | 3,323 | 5,737 |
|      | 特別当座 "  | 3     | 107   | 56    |
|      | 定 期 "   | 5     | 10    | 23    |
|      | 通 知 "   | 98    | 3,100 | 2,500 |
|      | 計       | 1,216 | 6,540 | 8,316 |
| 固有勘定 | 当 座 預 金 | 331   | 773   | 1,115 |
|      | 特別当座 "  | 18    | 77    | 63    |
|      | 定 期 "   | 1     | 6     |       |
|      | 通 知 "   | 18    |       |       |
|      | 計       | 368   | 866   | 1,178 |

(備考) 第4表と同様。

る。通知預金といえは信託勘定の余裕金の運用と推測されるが、住友銀行でなく横浜正金銀行を選んでいる理由が今一つ明らかでない。

固有勘定による預け金は、第4表中段にみる通り単純で、住友銀行のみといってよいが、正確には日銀への当座預金が八年以降発生していることを付言しなければならない。日銀への預け金が本店、東京支店双方にあるのは地理的事情から納得しうる。しかし未表示ではあるが同一地域で信託、固有両勘定が日銀に当座預金を有するのはなぜか。信託会社の分別管理原則の現われであろうが、目下のところ明らかにしえない。

両勘定を合計してみると(下段)、住友銀行の比重が五〇%を割る年さえあり、比重だけをみれば同行が常に圧倒的部分を占めたとはいえない。ただし日銀、正金への預け金はそれぞれ特殊な関係といえべく、財閥外の他行と広汎な取引関係を形成したわけではない。住友銀行とその支配銀行に限定され、

(単位：千円)

| (年 末)   | 大14   | 昭元    | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     | 7     | 8     | 9   | 10. | 11    |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|
| 定期預金 銀行 | 2,030 | 1,650 | 1,390 | 2,000 | 2,040 | 1,480 | 1,480 | 1,820 | 1,040 | 930 | 970 | 1,060 |
| 住友銀行    | 880   | 800   | 650   | 910   | 990   | 840   | 890   | 1,000 | 650   | 630 | 670 | 750   |
| 三井物産    | 200   | 250   | 160   | 160   | 100   | 100   | 100   | 150   | 50    |     |     |       |
| 三井物産    | 150   | 150   | 150   | 150   | 150   | 100   | 100   | 150   | 50    |     |     |       |
| 三井物産    | 150   | 150   | 150   | 300   | 300   | 150   | 150   | 200   | 50    |     |     |       |
| 三井物産    | 150   | 150   | 150   | 300   | 300   | 100   | 100   | 150   | 50    |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三井物産    | 100   |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |
| 三       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |     |       |

(備考) 住友生命「事業報告書」より計算のうえ作成。

親銀行である前者に集中していたとみてよからう。

なお、住友信託の預け金を種目的にみれば第5表の通りで、ほとんどが当座預金であり、銀行業務を禁止されている信託会社にとって、出納的（ないし決済的）必要から本支店すべてに設けられた結果である。また、通知預金は前述のごとく余裕金の運用とみられ、住友銀行にも置くが、横浜正金銀行に集中していることが特徴的であった。

次に、住友生命については、例外的に公表資料によって預け先が判明する。第6表はその明細である。住友銀行が定期、通知、当座、特別当座の各預金種目において、概して大きな比重を占めている。同社が住友傘下に入った直後の大正一四年は、住友銀行の比重が五三％、次第に住友銀行の比重は増大して、昭和一一年では八五％の高率となる。すなわち、第6表の定期預金にみる通り、三井、三菱ばかりでなく、第一や勸銀、さらに準大手や地方銀行にまで預金しているが、まもなく住友銀行が支配する地方銀行と大銀行とに絞られていった。その過程で住友銀行への預金配分率が増大していく。通知預金では、大正一四年の「三十四銀行ほか」をやめて住友銀行単独へ、当座預金では他行も若干あるが、住友銀行へ集中していく。特別当座預金のみ住友銀行より他行への預金が多い。右のことは、続著で明治生命を考察して得られた結果と類似しており、営業上の必要のためか、財閥外の銀行へも預金を分散していたことが確認される。

扶桑海上については、預け先を一切明らかにしえない。同社の場合も、三菱系の東京海上でみたように、営業上の必要から財閥外への預金が想像されるが。

問題を金銭信託に移そう。住友信託は大正一四年から営業を開始しているが、第7表のごとく住友生命が昭和六年から、扶桑海上が四年から金銭信託の存在を確認できる。その残高はあまり大きくはない。他方、住友銀行

1920年以降の住友財閥の金融

第9表 住友生命の運用有価証券  
信託の委託先 (単位:千円)

| (年末) | 住友信 | 三井信 | 計   |
|------|-----|-----|-----|
| 大 14 | 185 |     | 185 |
| 昭 元  | 185 | 137 | 322 |
| 2    | 197 | 137 | 334 |
| 3    | 195 | 137 | 332 |
| 4    | 194 | 137 | 331 |
| 5    | 147 | —   | 147 |
| 6    | 233 | 184 | 417 |
| 7    | 190 | 188 | 378 |
| 8    | 190 | 188 | 378 |
| 9    | 364 | 188 | 551 |
| 10   | —   | —   | —   |
| 11   | —   | —   | —   |

(備考) 第6表と同様。

第7表 住友系金融機関の金銭信託  
(戦間期) (単位:千円)

| (年末) | 住友生命 | 扶桑海上 | 計   |
|------|------|------|-----|
| 昭 元  | 120  |      | 120 |
| 2    | 120  |      | 120 |
| 3    | 220  |      | 220 |
| 4    | 220  | 50   | 270 |
| 5    | 400  | 50   | 450 |
| 6    | 400  | 90   | 490 |
| 7    | 700  | 110  | 810 |
| 8    | 700  | 200  | 900 |
| 9    | 500  | 230  | 730 |
| 10   | 500  | 233  | 733 |
| 11   | 300  | 263  | 563 |

(備考) 両社の「事業報告書」による。

第8表 住友生命の金銭信託の委託先(戦間期)  
(単位:千円)

| (年末) | 住友信 | 三井信 | 安田信 | 三菱信 | 計   |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 昭 元  | 70  | 50  |     |     | 120 |
| 2    | 70  | 50  |     |     | 120 |
| 3    | 70  | 50  | 100 |     | 220 |
| 4    | 70  | 50  | 100 |     | 220 |
| 5    | 200 | 100 | 100 |     | 400 |
| 6    | 200 | 100 | 100 |     | 400 |
| 7    | 300 | 200 |     | 200 | 700 |
| 8    | 300 | 200 |     | 200 | 700 |
| 9    | 300 | 100 |     | 100 | 500 |
| 10   | 300 | 100 |     | 100 | 500 |
| 11   | 200 | 100 |     |     | 300 |

(備考) 第6表と同様。

は金銭信託を委託した形跡をもたない。同行は敗戦後にいたるまで、信託勘定の利用が一切なかった。三菱銀行が三菱信託に金銭信託を有するのと、住友は態度を異にしている。<sup>(5)</sup>

住友生命の委託状況も公表資料で明らかにできるが、指定金銭信託の内訳は第8表の通りである。住友信託だけでなく、三井信託にも並行して委託が続き、安田が昭和三年から加わり、七年に安田に代って三菱が入る。信託会社並列の中で住友の受託がやや多いが、昭和三、四年は珍しく安田の方が多かった。この点は三菱系の明治生命が、三菱信託以外に、三井、住友、安田にも委託したのと類似している。ただし、明治生命の指定金銭信託が数百万円規模であったのに、住友生命では数十万円規模にとどまっている点は異なる。

さらに、住友生命では運用有価証券信託がある。すなわち、第9表に掲げたように、住友、三井両信託が受託者であり、住友の受託額の方が三井よりやや多いが、拮抗する年もある。ここでも住友信託一辺倒でないことが注目される。

### (3) 住友系金融機関預金等に占める住友系企業の比重

まず、財閥内企業の預金が住友銀行の全預金に占めた比重を試算してみよう。第10表は住友合資会社（本社）、連系会社と金融機関に分けて、貸借対照表上に表示された「預け金」（一部の企業で郵便貯金・現金を含む）を単純に合計（A）し、住友銀行の全預金（B）に対する比重を計算してみた。A/Bは大正末期から三〇%前後、昭和九年以降四〇%をこえるが、大正一三年までは一〇%前後の低率である。括弧内（大正二一・昭和二年）には、合資会社の有する預金が不明のため入っていないが、仮りにその前後と同規模の預金が合資会社にあったとしても、A/Bは〇・五%程度増加するにすぎず、低率であることに変わりがない。実際には第10表の右側のごとき修正が必要である。すなわち、連系会社から住友銀行ではなく本社に預けた分、金融機関のうち内部資料等も含め判明

第10表 住友銀行預金に占める住友系企業の比重 (戦間期)

(単位：千円)

|    | 本 社<br>連系会社 | 金融機関   | 小 計<br>(A) | 住友銀行預金<br>(B) | A/B<br>(%) | 住友銀行以外へ預金<br>(C)      |                       | A - C = D | D/B<br>(%) |
|----|-------------|--------|------------|---------------|------------|-----------------------|-----------------------|-----------|------------|
|    |             |        |            |               |            | 連系会社の<br>うち本社へ<br>預け金 | 金融機関の<br>うち他行へ<br>預け金 |           |            |
| 大  |             |        |            |               |            |                       |                       |           |            |
| 10 | 3,331       | —      | 3,331      | 369,776       | 0.9        |                       |                       |           |            |
| 11 | 3,205       | —      | 3,205      | 333,919       | 1.0        |                       |                       |           |            |
| 12 | (3,171)     | —      | (3,171)    | 344,059       | (0.9)      | ?                     |                       | ?         | ?          |
| 13 | (5,198)     | —      | (5,198)    | 376,590       | (1.4)      | ?                     |                       | ?         | ?          |
| 14 | (8,537)     | 2,952  | (11,489)   | 415,910       | (2.8)      | 5,400                 | ?                     | ?         | ?          |
| 昭  |             |        |            |               |            |                       |                       |           |            |
| 元  | (8,962)     | 2,729  | (11,691)   | 435,149       | (2.7)      | 6,000                 | ?                     | ?         | ?          |
| 2  | (10,464)    | 3,378  | (13,842)   | 552,780       | (2.5)      | 7,550                 | 745                   | 5,547     | 0.1        |
| 3  | 11,582      | 6,619  | 18,201     | 642,862       | 2.8        | 8,450                 | 1,114                 | 8,637     | 1.3        |
| 4  | 13,243      | 6,201  | 19,444     | 662,681       | 2.9        | 9,000                 | 1,068                 | 9,376     | 1.4        |
| 5  | 14,738      | 9,414  | 24,152     | 680,689       | 3.5        | 11,550                | 653                   | 11,949    | 1.8        |
| 6  | 14,449      | 9,507  | 23,956     | 667,132       | 3.6        | 10,310                | 1,770                 | 11,876    | 1.8        |
| 7  | 16,548      | 11,827 | 28,375     | 735,187       | 3.9        | 10,480                | 4,999                 | 12,896    | 1.8        |
| 8  | 18,505      | 11,514 | 30,019     | 798,157       | 3.8        | 10,480                | 4,889                 | 14,650    | 1.8        |
| 9  | 23,443      | 14,320 | 37,763     | 872,528       | 4.3        | ?                     | 4,136                 | ?         | ?          |
| 10 | 45,338      | 17,486 | 62,824     | 952,298       | 6.6        | ?                     | 6,329                 | ?         | ?          |
| 11 | 31,322      | 14,658 | 45,980     | 1,017,348     | 4.5        | 11,840                | 2,584                 | 31,556    | 3.1        |

(備考) 1. 本社・連系会社は第1表、金融機関は第3表、住友銀行預金は、『住友銀行八十年史』巻末計数、住友銀行

以外へ預金は、第2表、第4表、第6表より計算のうえ作成。

2. ( ) 内は住友合資の預け金不詳のため過小表示と思われる。

資金の財源の住友の1920年以後

第11表 住友信託の金銭信託に占める住友系企業の比重（戦間期）

（単位：千円）

|      | 本社<br>連系会社 | 金融機関 | 小計<br>(A) | 住友信託<br>金銭信託<br>(B) | A/B<br>(%) | 金融機関<br>のうち、<br>住友信託<br>以外へ預託<br>(C) | A - C<br>= D | D/B |
|------|------------|------|-----------|---------------------|------------|--------------------------------------|--------------|-----|
| 大 14 |            |      |           | 10,184              |            |                                      |              |     |
| 15   |            | 120  | 120       | 49,805              | 0.2        | 50                                   | 70           | 0.1 |
| 昭 2  |            | 120  | 120       | 101,226             | 0.1        | 50                                   | 70           | 0.1 |
| 3    |            | 220  | 220       | 161,403             | 0.1        | 150                                  | 70           | 0.0 |
| 4    |            | 220  | 220       | 188,547             | 0.1        | 150                                  | 70           | 0.0 |
| 5    |            | 450  | 450       | 194,247             | 0.2        | 200                                  | 250          | 0.1 |
| 6    |            | 490  | 490       | 207,518             | 0.2        | 200                                  | 290          | 0.1 |
| 7    |            | 810  | 810       | 207,552             | 0.4        | 400                                  | 410          | 0.2 |
| 8    |            | 900  | 900       | 234,380             | 0.4        | 400                                  | 500          | 0.2 |
| 9    |            | 730  | 730       | 271,707             | 0.3        | 200                                  | 530          | 0.2 |
| 10   |            | 733  | 733       | 305,302             | 0.2        | 200                                  | 533          | 0.2 |
| 11   | 887        | 563  | 1,450     | 329,347             | 0.4        | 100                                  | 1,350        | 0.4 |

（備考） 本社・連系会社は、前掲拙著第175表、金融機関は第7表、住友信託金銭信託は『住友信託銀行五十年史』別巻計表、住友信託以外の預託は第8表より計算のうえ作成。

した限りでの住友銀行以外への預金を控除（C）しなければならぬ。とすればD/Bが資料的に判明する限りでの住友銀行全預金における比重ということになる。しかもその中には依然として預け先不詳分が含まれているから、仮りに不詳分も住友銀行とみなした場合の数値、すなわち上限値にすぎない。第10表にみるD/Bはいかにも低率である。

三菱の場合はどうであったか。三菱系各社の預金のうち、三菱合資会社への預け金は別建表示なので分離でき、東京海上、明治生命は内部資料で三菱銀行だけを取り出すことができたから、第10表の住友の場合と試算条件はかなり類似しているといえる。その上で三菱系企業の預金の三菱銀行全預金に占める比重が、住友と同期間において八〇一〇%、高い時は一二、三%におよぶ。住友と三菱の差は歴然としており、住友の極端な低率が印象的

である。預金量比較では住友が三菱よりやや多いが、両行はほぼ拮抗する。住友が低率の原因は、比較してみると連系会社、金融機関いずれも三菱のそれよりすくないことにある。とくに金融機関で極端な差を生じているが、住友が信託、生命、海上保険の三社、三菱が五社（三菱信託、明治生命、東京海上、明治火災、三菱海上）で数が多いばかりか、東京海上、明治生命が大会社であることも関係しているよう。

次に、財閥内企業の金銭信託が住友信託の全金銭信託に占める比重を試算してみよう。第11表は前掲の預金と同様な方法をとっているが、その比重（ $A/B$ ）はわずか $0.1 \sim 0.4\%$ にとどまる。その上、住友生命で他財閥系信託を利用していた事実があるから、それを控除すると、 $D/B$ はさらに低率となり、昭和十一年に住友合資会社をはじめ金銭信託を委託（第11表の八九万円）した事実を除けば、ほとんど無視しうる比重である。

この点も三菱の場合と比較してみると、三菱系企業の金銭信託の三菱信託全金銭信託に占める比重が、五八%の水準にあるので、ここでも住友の極端な低率が明らかである。三菱信託は住友信託より後発とはいえ、規模が拮抗するまでに追付いているので、その原因は住友の本社・連系会社に金銭信託がなく、金融機関のそれもわずかであって、いずれでも大差がついていることに求められよう。

(1) 財閥の全体像を財務的計数で把握しようとすることは、決算期の異なる複数会社から構成されている場合、営業報告書のごとく公表資料による限り、正確には不可能である。同一時点で財閥内諸会社の計数を知るには、財閥内で同一時点で集計した内部作成資料に依存するほかはない。統著の三菱でも、本稿の住友でも、異決算期の計数を合計するが、内部資料が得られぬ以上、論理的整合性がないことを承知の上で、大勢判断に利用することが狙いである。

(2) 住友倉庫の営業報告書によれば、創立早々の大正十二年二月期から「住友銀行及加島銀行当座預金」の記載があり（十三年六月期のみ借越）、昭和四年六月期に「銀行預金」として「住友銀行及野村銀行」の記載となり、同年二月期以降「預け金及現金」で相手先の記載が省略されている。金融恐慌で挫折した加島銀行の代りに野村銀行が加わったと思

われ、記載省略後も住友、野村両行が続いた公算が大きい。

(3) 大阪北港の営業報告書によれば、昭和二年一二月期に「銀行預金」として「住友銀行当座預金」の記載があり、翌三年六月期から「諸預け金」として「住友銀行当座預金他二口」になり、四年一二月期から「諸預け金及現金」として住友銀行当座預金其他現金手許在高」になり、七年六月期以降相手先が記載省略となっている。右の経過から、住友銀行以外に他行が郵便貯金など別な機関かの存在がわかる。

(4) 『住友信託銀行五十年史』の「金銭信託の運用概況」二一七表、二一七三表による。

(5) 三菱銀行が三菱信託に金銭信託を委託している事実(続著)第一三二表参照)があるが、住友銀行の勘定科目に「信託勘定」が登場するのは戦後であって、戦前期にはない。金銭信託は戦前に「信託預金」と俗称されたから、同行の「預け金」に含まれている可能性も検証したが、その可能性もなかった。

## (二) 借入等

次に、住友系企業の資金調達的手段として、増資・払込徴収を別とすれば、社債、借入金、支払手形、割引手形、当座借越などが主要なものと考えられる。住友系金融機関同士の貸借はほとんどなく、住友合資会社、連系会社、傍系会社の借入等が考察の対象となる。ここでも以下の諸表の合計は、決算期の異なるものを集計したものである以上、論理性を欠くことを繰返し断っておかねばならない。

### (1) 社債

戦間期に住友財閥で社債を発行した唯一の事例は住友倉庫であった。大正一三(一九二四)年二月五日、五七万二、七五〇円発行した記録はあるが、その事情は一切明らかでない。公募はされず、八年強で一括償還されている。<sup>(2)</sup>すでに「前著」で次のように指摘した。

「住友信託は昭和四年五月期から同社債一、〇〇〇円を固有勘定で所有し(八年五月期まで)、六年五月期から

七年一月期まで二〇万円を信託勘定で所有した。発行額五七万余円であるから、三割強にあたるが、金銭信託による投資か有価証券信託による管理か明らかでない。取得時期は住友倉庫の発行時期（大正一三年）から大分経過しているので、住友信託の前に引受人がいたはずである<sup>(3)</sup>」

たしかに同社債は、住友倉庫にとって長期の資金調達になったはずであるが、五七万二七五〇円のようになぜ端数がつくのか奇妙であり、片や多額の借入金が長期間並行的に存在するので、社債を発行した事情が一層知りたところである。特殊な事情があるとすれば、誰かが多額に引受け、事実上の借入金である可能性もある。右のごとく住友信託の所有からみると、償還まで所有する固有勘定分は、少額ながら住友信託自身の意思による所有であり、償還以前に解約される信託勘定分は、真の所有者から委託された一時的所有と推測される。

## (2) 借入金・支払手形等

各社の「借入金」は第12表、「支払手形」は第13表のごとく、各社の貸借対照表上の表示にしたがって区分したが、これまで筆者もしばしば指摘しているように、「支払手形」と称しても事実上借入金であることがすくなくない。すなわち、両表をみればわかるように、肥料、大阪北港、ビルの三社には借入金と支手が並存する時期があり、たしかに二つの科目は区別されて、長期と短期である可能性が強い。しかし鉱業部門の各社や伸銅鋼管、電線のように、借入金は一切なく、支払手形（割引手形を含む場合もある）に依存する企業、また、土佐吉野川水電、倉庫にみられるように支手はなく、借入金依存の企業、というごとく企業によって科目表示に差がある。支手は営業上の決済手段として振出す可能性があるが、第13表にみる各社の支手残高は、多くの場合、ラウンドナンバーであり、端数の付きがちの営業上の決済ではないように思われる。

ともあれ大正期の住友では、借入等のない自己金融型の会社の方が多かった。すなわち、第12〜14表を通覧し

第12表 住友系企業の借入等(その1)

(単位:千円)

| 借入金   |     |       |       |       |                 |       |       |       |       |        |       |       |  |
|-------|-----|-------|-------|-------|-----------------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--|
| 社債    |     | 肥料    | アルミ   | 坂炭    | 土佐              | 倉庫    | 北     | 港     | ビル    | 計      | 日本電気  | 板硝子   |  |
| (12月) |     | (12月) | (12月) | (12月) | (12月)           | (12月) | (12月) | (12月) | (12月) | (12月)  | (11月) | (12月) |  |
| 大     |     |       |       |       |                 |       |       |       |       |        |       |       |  |
| 9     |     |       |       |       |                 |       |       |       |       |        |       |       |  |
| 10    |     | —     | —     | —     |                 | —     | (542) | (429) | —     | —      |       | 3,614 |  |
| 11    |     | —     | —     | —     |                 | —     | (950) | (509) | —     | —      |       | 3,500 |  |
| 12    |     | —     | —     | —     |                 | 3,124 | (914) | (414) | 1,530 | 3,124  |       | 2,800 |  |
| 13    | 572 | —     | —     | —     |                 | 3,721 | (877) | (400) |       | 5,251  |       | 2,500 |  |
| 14    | 572 |       | —     |       |                 | 3,130 | (838) |       |       | 3,130  |       | 2,500 |  |
| 昭     | 572 |       | —     |       | 130             | 3,830 | (796) | (400) |       | 3,830  |       | 2,500 |  |
| 元     | 572 |       | —     |       | 50              | 4,210 | 752   |       |       | 5,092  |       | 2,500 |  |
| 2     | 572 |       | —     |       |                 | 4,260 | 707   |       | 1,290 | 6,307  |       | 2,500 |  |
| 3     | 572 |       | —     | 887   | 1,685           | 6,252 | 612   |       | 2,705 | 12,141 |       | 2,200 |  |
| 4     | 572 | 43    | —     |       | 3,495           | 6,182 | 610   |       | 3,826 | 14,156 |       | 1,650 |  |
| 5     | 572 | 2,089 | —     |       | 3,310           | 6,472 | 558   |       | 3,604 | 16,033 |       | 900   |  |
| 6     | 572 | 2,145 | —     |       | 3,260           | 6,032 | 504   |       | 3,402 | 15,343 |       | 2,700 |  |
| 7     | 572 | 1,253 | —     |       | 3,465           | 5,580 | 446   |       | 3,194 | 13,938 |       | 1,800 |  |
| 8     |     | 700   | —     |       | (長) 500 (短) 220 | 5,580 | 386   |       | 2,997 | 10,383 |       | 1,100 |  |
| 9     |     | 2,000 | —     |       | 2,700           | 4,730 | 323   |       | 2,930 | 13,063 |       |       |  |
| 10    |     | 3,000 | —     |       | 2,050           | 3,930 | 257   |       | 2,818 | 13,997 |       |       |  |
| 11    |     | 1,002 | —     |       | 940             |       |       |       |       |        | 3,400 |       |  |

(備考) 1. 各社営業報告書より作成。千円未満切捨て。

2. 北港の( )内は、連系会社指定前で計に含まず。

第13表 住友系企業の借入等 (その2) —支払手形

(単位：千円)

|    | 製鋼所 | 伸銅鋼管 | 電 線   | 肥 料   | 滿洲<br>鋼管 | 別子鉾山                | 坂炭砒   | 九州炭砒  | 北 港     | ピ ル | 本 社   | 計      | 板硝子   |
|----|-----|------|-------|-------|----------|---------------------|-------|-------|---------|-----|-------|--------|-------|
| 大  |     |      |       |       |          |                     |       |       | (1,154) | —   |       | 5,504  | 2,099 |
| 9  |     | 2)   | 5,504 | —     | —        | —                   | —     | —     | (720)   | —   |       | 5,042  | 2,352 |
| 10 |     | 2)   | 5,042 | —     | —        | —                   | —     | —     | (720)   | —   |       | 3,857  | 117   |
| 11 |     | 2)   | 3,857 | —     | —        | —                   | —     | —     | (720)   | —   |       | 7,430  | 77    |
| 12 |     | 2)   | 7,430 | —     | —        | —                   | —     | —     | (990)   | —   |       |        | 44    |
| 13 |     | —    | —     | —     | —        | —                   | —     | —     | (600)   | —   |       |        | 23    |
| 14 |     | —    | —     | —     | —        | —                   | —     | —     | (400)   | —   |       |        | 8     |
| 元  |     |      |       |       |          |                     |       |       |         |     |       |        | 12    |
| 2  |     |      |       | 300   | —        | 1,500               | 600   | —     |         |     |       | 2,400  | 15    |
| 3  |     | 1)   | 3,070 | 591   | —        | 3,500               | 680   | 760   |         |     |       | 8,601  | 53    |
| 4  |     | 1)   | 1,516 | 1,291 | —        | 3,200               | 1,117 | 2,050 |         |     |       | 9,174  | 36    |
| 5  |     | 1)   | 1,760 | 3,120 | —        | 3,200 <sup>3)</sup> | 5,882 |       |         |     |       | 13,962 | 40    |
| 6  |     |      |       | 1,900 | —        | 3,180 <sup>3)</sup> | 6,100 |       |         |     |       | 11,180 | 165   |
| 7  |     |      |       | 2,700 | —        | 2,450 <sup>3)</sup> | 5,563 |       |         |     |       | 10,713 | 51    |
| 8  |     |      |       | 200   | —        |                     | 5,450 |       |         | 50  | 2,200 | 7,900  | 77    |
| 9  |     |      |       |       |          |                     | 1,700 |       |         | 300 |       | 2,200  | 58    |
| 10 |     | 4)   | 1,348 | 1,700 |          |                     | 1,500 |       |         |     |       | 4,548  | 47    |
| 11 |     |      | 1,596 | 3,800 | 7        |                     | 1,150 |       |         |     |       | 6,553  |       |

(備考) 1. 各社営業報告書より作成。

2. 1) 支払及割引手形 2) 仮入金及手形 3) 支払手形及割引手形 4) 合併して住友金属工業。

3. 北港の ( ) 内は連系会社指定前で計に含まず。

第14表 住友系企業の借入等（その3）

（単位：千円）

|     | 割 引 手 形  |     |         |     | 引受荷為<br>替手形 | 銀 行 勘 定 |          |     |           |     |
|-----|----------|-----|---------|-----|-------------|---------|----------|-----|-----------|-----|
|     | 伸銅<br>鋼管 | 坂炭砒 | 本 社     | 板硝子 | 板硝子         | 肥料      | 別子<br>鉾山 | 坂炭砒 | 本 社       | 板硝子 |
| 大 9 | —        | —   |         | 8   | 12          |         |          |     |           | 187 |
| 10  | —        | —   |         | 397 | 171         | —       | —        | —   | (17, 223) | 869 |
| 11  | —        | —   |         | 101 |             | —       | —        | —   | (14, 644) |     |
| 12  | —        | —   |         |     |             | —       | —        | —   | (11, 711) |     |
| 13  | —        | —   |         |     |             | —       | —        | —   | (10, 487) |     |
| 14  | —        | —   |         |     |             |         | —        | —   | (899)     |     |
| 昭元  | 462      |     |         |     |             |         |          |     | ( )       |     |
| 2   | 315      | 23  | ?       |     |             | 184     | 148      | 5   | ?         |     |
| 3   |          | 3   | ?       |     |             |         |          |     | ?         |     |
| 4   |          |     | ?       |     |             |         |          |     | ?         |     |
| 5   |          | —   | 1, 355  |     |             |         |          | —   | 1, 142    |     |
| 6   |          | —   | 8, 662  |     |             |         |          | —   | 2, 384    |     |
| 7   |          | —   | 12, 968 |     |             |         |          | —   | 3, 242    |     |
| 8   |          | —   | 16, 074 |     |             |         |          | —   | 3, 662    |     |
| 9   |          | —   | 23, 586 |     |             |         |          | —   | 4, 016    |     |
| 10  |          | —   | 11, 888 |     |             |         |          | —   |           |     |
| 11  |          | —   | 194     |     |             |         |          | —   |           |     |

（備考） 1. 各社営業報告書より作成。本社は前掲拙著第166表による。本社の  
（ ）内は同第173表による。

て借入等に依存しているのは、連系会社の電線、倉庫と、傍系の大阪北港と板硝子ぐらいであった。合資会社にも製鋼、肥料、電力、ビル、坂炭砒にも借入等はない。昭和期に入ると分離独立・新設により連系会社が増え、借入等に依存する会社も増加する。その中で製鋼は、伸銅鋼管と合併する寸前まで無借金であり、電線も大正一三年以降は無借金、昭和九年新設三社のうち、機械はまだ借入が発生せず、アルミ製錬、満洲鋼管は一年から依存した。借入金では肥料、電力、大阪北港、倉庫、ビルが主であり、支手では、伸銅鋼管とその後身の住友金属工業、肥料、別子鉾山、炭砒諸社が主である。合成アソモニア、硫安設備の大投資を続ける肥料と、鉾山部門の諸社、非製造部門

1920年以降の住友財閥の金融

第15表 住友系金融機関の貸出

(単位：千円)

|      | 銀 行     | 信 託     | 生 命   | 海上保険    | 計       |
|------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 大 10 | 295,704 |         |       |         | 295,704 |
| 11   | 249,546 |         |       | (1,088) | 249,546 |
| 12   | 224,829 |         |       | (843)   | 224,829 |
| 13   | 253,050 |         |       | (465)   | 253,050 |
| 14   | 285,594 | 10,639  | 518   | (394)   | 296,751 |
| 15   | 315,838 | 52,393  | 768   | (402)   | 368,999 |
| 昭 2  | 367,487 | 86,406  | 886   | (199)   | 454,779 |
| 3    | 395,209 | 117,442 | 1,024 | (234)   | 513,675 |
| 4    | 409,272 | 129,807 | 1,119 | (88)    | 540,198 |
| 5    | 419,472 | 137,450 | 2,027 | 40      | 558,989 |
| 6    | 414,493 | 137,177 | 2,556 | 100     | 554,326 |
| 7    | 447,677 | 143,115 | 2,771 | 300     | 593,863 |
| 8    | 461,402 | 155,503 | 3,389 | 80      | 620,374 |
| 9    | 466,092 | 122,214 | 2,546 | 350     | 591,202 |
| 10   | 522,022 | 142,265 | 3,134 | 278     | 667,699 |
| 11   | 618,158 | 161,472 | 3,582 | —       | 783,212 |

(備考) 『住友銀行八十年史』『住友信託銀行五十年史』『住友生命社史』の巻末計数、海上保険は事業報告書より作成。( ) 内は住友に経営が移る前で計に含まず。

の諸社(電力、倉庫、ビル)が借入等に依存し、金属に代表される製造部門は、肥料を除いてまだ借入等への依存度が小さかった。

住友合資会社は借入金を表示をとらず、昭和八年に支手の記録があるが、多くの年で銀行勘定および割引手形に依存している。銀行勘定とは当座預金および当座借越と推測されるが、第14表にみるように、住友総本店を合資会社に改組した大正一〇年では多額の借越があり、大正末期にいったん解消している。昭和二、四年は資料がないが、五年以降、銀行勘定ばかりか割引手形が多額となっている。昭和一〇年に住友金属の株式公開にあたり、合資会社は所有株を放出して巨額の利益を得、同時に巨額の資金を入手したから、銀行勘定は一転して預金超過となった。同社の割引手形は、

同社の直営販売店が入手した商業手形の割引なのか、同社自身の振出した手形の割引、すなわち事実上の借入なのか、目下のところ実証しえない。もし後者だとすれば、事実上の借入になる当座借越と割引手形の使い分け基準が知りたい点である。

傍系会社のうち日本電気は、住友に経営が移った昭和七年に借入が発生するが、通信機器の需要拡大に対応しての増設のためであった。板硝子は借金依存の体質のまま大正一一年に住友が経営を引受け、逐次借金を改善する傾向が読みとれる。

### (3) 住友系金融機関貸出における住友系企業の比重

それでは戦間期の住友系企業の借入等を総括してみよう。その前に住友系金融機関四社の貸出を合計しなければならぬ。第15表によれば、銀行の貸出に対して信託（固有・信託両勘定の貸出合計）のそれは、約四分の一、三分の一の比重であって、無視できぬ重要な存在である。しかし生命の貸出はわずかであり、さらに海上保険にいたっては一層小額である。すなわち、住友系金融機関の貸出といっても、実質上は銀行、信託のそれを考察すれば事足りることを意味する。

第16表は住友系企業の借入等（A）が、住友系金融機関の全貸出（B）のうち、いかなる比重を占めるか試算したものである。貸借対照表から得た単純な試算では、その比重（ $A/B$ ）は、戦間期を通じて大きくゆれ動き、その幅は一・二％から九・九％におよんでいる。しかし内部資料によれば、連系会社が住友合資会社の借入に依存している場合（C）と、財閥外からの借入による場合（D）が判明する。後者は具体的にいえば、大阪北港が大阪市から住宅建設のための低利融資を受け、年賦返済しているもので、第16表の「その他（D）」がそれである。したがって（C）（D）を控除した（E）が金融機関に依存した分と一応推測され、それが住友系金融機関

第16表 住友系金融機関の貸出に占める住友系企業の比重（戦間期）

（単位：千円，％）

|     | 住友合資会社・連系会社の借入等 |        |        |           | 住友系金融機関貸出 (B) | A/B | (B)以外からの借入等 (C) |         | A-(C)+D=E | E/B       | 住友合資会社等の借入等 (F) |          | E-F=G | G/B |
|-----|-----------------|--------|--------|-----------|---------------|-----|-----------------|---------|-----------|-----------|-----------------|----------|-------|-----|
|     | 借入金             | 支払手形   | 割引手形   | 銀行勘定小計(A) |               |     | 住友合資会社等 (C)     | その他 (D) |           |           | 住友合資会社等 (F)     |          |       |     |
| 大10 |                 | 5,042  |        |           | 295,704       | 7.5 |                 |         | 22,265    | 7.517,223 |                 |          | 5,042 | 1.7 |
| 11  |                 | 3,857  |        |           | 249,546       | 7.4 |                 |         | 18,501    | 7.414,644 |                 |          | 3,857 | 1.5 |
| 12  | 3,124           | 7,430  |        |           | 224,829       | 9.9 | 2,754           |         | 19,511    | 8.711,711 |                 |          | 7,800 | 3.5 |
| 13  | 5,251           |        |        | 10,487    | 253,050       | 6.2 | 3,981           |         | 11,757    | 4.610,487 |                 |          | 1,270 | 0.5 |
| 14  | 3,130           |        |        | 899       | 296,751       | 1.4 |                 |         | 4,029     | 1.4       | 899             |          | 3,130 | 1.1 |
| 15  | 3,830           |        | 462    | 4,292     | 368,999       | 1.2 | 1,930           |         | 2,362     | 0.6       |                 |          | 2,362 | 0.6 |
| 昭和2 | 5,092           | 2,400  | 338    | 337       | 454,779       | 1.8 | 3,855           | 752     | 3,560     | 0.8       | ?               | (3,560)  |       | 0.8 |
| 3   | 6,307           | 8,601  | 3      |           | 513,675       | 2.9 | 2,070           | 707     | 12,134    | 2.4       | ?               | (12,134) |       | 2.4 |
| 4   | 12,141          | 9,174  |        |           | 540,198       | 3.9 | 3,128           | 612     | 17,575    | 3.3       | ?               | (17,575) |       | 3.3 |
| 5   | 14,156          | 13,962 | 1,355  | 1,142     | 558,989       | 5.5 | 2,390           | 610     | 27,615    | 4.9       | 2,497           | 25,118   |       | 4.5 |
| 6   | 16,033          | 11,180 | 8,662  | 2,384     | 554,326       | 6.9 | 3,490           | 558     | 34,211    | 6.211,046 |                 | 23,165   |       | 4.2 |
| 7   | 15,343          | 10,713 | 12,968 | 3,242     | 593,863       | 7.1 | 3,420           | 504     | 38,342    | 6.516,210 |                 | 22,132   |       | 3.7 |
| 8   | 13,938          | 7,900  | 16,074 | 3,662     | 620,374       | 6.7 | 3,360           | 446     | 37,768    | 6.119,736 |                 | 18,032   |       | 2.9 |
| 9   | 10,383          | 2,200  | 23,586 | 4,016     | 591,202       | 6.8 | 3,300           | 386     | 36,499    | 6.227,602 |                 | 8,897    |       | 1.5 |
| 10  | 13,063          | 4,548  | 11,888 |           | 667,699       | 4.4 | 3,240           | 323     | 25,936    | 3.911,888 |                 | 14,048   |       | 2.1 |
| 11  | 13,997          | 6,553  | 194    |           | 783,212       | 2.6 | 3,180           | 257     | 17,307    | 2.2       | 194             | 17,113   |       | 2.2 |

（備考） 住友合資会社、連系会社の借入等は第12～14表、住友系金融機関貸出は第15表による。

1920年以降の住友財閥の金融

に対するものと仮定すると(E/B)、○・六%から八・七%の幅に修正される。合資会社設立後三年間は七・八%の水準で、戦間期を通じてもっとも高く、大正末期までに急低下して一%を割る。以後水準は次第に上昇して昭和六、七年に六%台に達し、ふたたび二%台へ急低下した。このような急激な変動はなにに起因するのか。(A)にしても、(E)にしても、前述したように「借入等」の合計値自身論理性に欠けるが、趨勢をみることはできる。大きく変動する趨勢は、その内容が住友合資会社の借入等の動きと、連系会社群のそれに分解してみると、合資会社によって振幅が拡大されていることがわかる。すなわち、第16表の右端にみる合資会社の借入等は、大正一〇〜一三年と、昭和六、八年に高水準を示めている、前者の住友総本店が合資会社に改組される前後は、財閥本部が傘下事業へ資金供給のため、住友銀行に多額の資金を依存していたからである。また、後者の高水準は、赤字でありながら配当し、本社自体の起業や子会社投資等のために資金を必要としたからである。膨張した借入等も、住友金属株式を財閥外に放出したことで、住友合資会社は一挙に資金ポジションを改善している。合資会社による借入等(F)を除くと、連系会社の金融機関依存が試算されるが、G/Bでみる通り、変動幅は○・六%から四・五%のようにかなり縮まる。

三菱における同様な試算は、戦間期を通じて低率の時期でも一〇%台、多くの年は二〇%台、高い年は三〇%台に達していたことを思えば、住友とは格段に異った高水準であった。

(1) 『住友銀行史』の巻末計表によれば大正六、一一年に借入金、コールマネーがあるが、時期的にみて信託、生命、海上保険はまだ住友財閥に存在しない。ただ、住友生命に昭和九年五月現在、住友信託から信託勘定で四五万円の借入残高があった事実がある。それは有価証券担保借入で四口、短期間であった(住友信託「信託財産目録記入帳」(昭和九年度)による)。しかし住友財閥全体からみれば、一時点のみのレア・ケースと考えられる。

(2) 発行日、金額は『住友倉庫六十年史』年譜(四三九頁)によると、社債発行についての記述は同史本文にはない。ま

た、同社債は興銀『社債一覽』（昭和四五年）には記載がなく、私募債と思われる。  
（3） 前著、四〇五〜七頁。

#### 四 戦時体制期の住友財閥各社と金融機関の関係

##### （一） 預金等

日中戦争開始の年、すなわち昭和一二（一九三七）年の二月、住友合資会社は株式会社住友本社に改組され、同年六月住友別子鉱山と住友炭鉱は合併して住友鉱業となり、一九年一月大阪北港と住友ビルディングが合併して住友土地工務となった。また、この間扶桑海上が住友海上火災保険と改称して連系会社に指定され、（一五年四月）、日本電気も指定された後住友通信工業と改称（一八年二月）している。改称も相次ぎ、満洲住友鋼管は満洲住友金屬工業（一三年一月）、住友電線製造所は住友電気工業（一四年一月）、住友機械製作は住友機械工業（一五年一〇月）、土佐吉野川水力電気は、九年に四国中央電力と改称していたが、さらに住友共同電力となり（一八年四月）、住友海上は大阪海上火災保険と合併して大阪住友海上火災保険と改称している（一九年三月）。右のごとく数多くの動きはあったが、傘下企業群の実体はほとんど変わっていないというべきであろう。戦時末期に連系会社となった日本電気は作表の便宜上、傍系会社のまま表示しておく。

##### （1） 住友本社・連系会社の「預金等」

第17表は各社の「預け金」を整理したものであるが、表示上二つの難点をまず指摘しておかねばならない。第一は×印で示したように、「預け金」「現金」の分離不能のケースが戦間期より多くなっていること、第二は昭和一八、九年に決算期を変更する会社が増え、合計はますます意義が薄いこと、である。

第17表 住友系企業の預金（戦時体制期）

（単位：千円）

| 昭  | 住友金<br>属工業<br>(9月) | 住友電<br>線製造<br>所<br>(12月) | 住友化<br>学工業<br>(12月) | 住友機<br>械製作<br>(12月) | 住友<br>ルミネ<br>ス鋼管<br>(12月) | 1)<br>住友<br>鋼管<br>(12月) | 住友<br>鉱業<br>(12月) | 住友倉庫<br>(12月) | 四国<br>中央<br>電力<br>(12月) | 大阪北<br>港<br>(12月) | 住友ビ<br>ルディ<br>ング<br>(12月) | 小計     | 住友<br>本社<br>(12月) | 合計     | 日本<br>電気<br>(11月) | 日本<br>板硝子<br>(12月) |
|----|--------------------|--------------------------|---------------------|---------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------|---------------|-------------------------|-------------------|---------------------------|--------|-------------------|--------|-------------------|--------------------|
| 12 | × 8,677            | × 3,957                  | 190                 | 4 ×                 | 4 ×                       | 923 ×                   | 1,385 ×           | 234           | 53 ×                    | 3,578             | 1,365                     | 20,370 | 1,321             | 21,691 | 2,308             | 2,356              |
| 13 | × 11,813           | × 3,650                  | 224                 | 17 ×                | 8 ×                       | 596 ×                   | 3,036 ×           | 199           | 181 ×                   | 5,560             | 723                       | 26,007 | 6,489             | 32,496 | 1,243             | 1,224              |
| 14 | × 10,327           | × 12,675                 | 277                 | 377 ×               | 53 ×                      | 222 ×                   | 1,127 ×           | 3,523         | 111 ×                   | 7,536             | 724                       | 36,952 | 3,580             | 40,532 | 3,339             | 1,932              |
| 15 | × 10,279           | × 5,213                  | 2,649 ×             | 3,714 ×             | 92 ×                      | 377 ×                   | 1,539 ×           | 3,155         | 18 ×                    | 5,077             | 840                       | 32,953 | 16,204            | 49,157 | 10,324            | 1,874              |
| 16 | × 22,384           | × 7,106                  | 1,684 ×             | 238 ×               | 69 ×                      | 999 ×                   | 2,804 ×           | 5,285         | 225 ×                   | 4,586             | 1,100                     | 46,480 | 21,456            | 67,936 | 12,565            | 1,045              |
| 17 | × 20,725           | × 11,798                 | 1,908 ×             | 681 ×               | 90 ×                      | 345 ×                   | 3,102 ×           | 8,266         | 98 ×                    | 4,805             | 1,365                     | 53,183 | 21,881            | 75,064 | 12,923            | 1,583              |
| 18 | × 51,822           | × 5,260                  | 1,684 ×             | 1,399 ×             | 1,368 ×                   | 270 ×                   | 2,811 ×           | 9,401         | —                       | × 3,343           | 1,131                     | 78,490 | 19,041            | 97,531 | 11,005            | 1,407              |
| 19 | × 51,677           | × 4,251                  | 1,683 ×             | 344 ×               | 86 ×                      | 396 ×                   | 6,563 ×           | 5,833         | 357 <sup>2)</sup>       | × 3,851           | 84,041                    | ?      | ?                 | ?      | 22,770            | 12,070             |
| 20 | × 80,717           | × 27,496                 | 6,485 ×             | 6,848 ×             | △ 1                       | ?                       | × 1,347           | ?             | ?                       | × 7,798           | ?                         | ?      | ?                 | ?      | 7,142             | ?                  |

（備考） 1. 1) 昭12.6住友別子鉱山と住友炭鉱が合併し、住友鉱業と改称 2) 昭19.11大阪北港と住友ビルディングが合併し、住友土地工務と改称。

2. 住友本社の昭12～16は「実勢報告書」、昭17, 18は「会計見積書」、他社はそれぞれの営業報告書による。千円未満切捨て。

第17表によれば、戦時体制下に「預け金」全体は傾向として増加し、戦時末期は昭和一二年に対しすくなくとも三倍ないし四倍になっていたと思われる。もちろん住友財閥が戦時体制期に大膨張をとげたことの反映であるが、「預け金」の大きさは会社によって大きな差があることも事実である。

第一に、金属は軍需産業の花形として膨張がいちじるしい企業であるが、それを反映して、現預金も次第に増大、財閥内では隔絶した多額の残高を擁している。とくに昭和一八年以降その感が深い。それは三菱財閥における三菱重工の事情と好一対をなす。

第二に、電線を筆頭に、鉱業、化学など生産部門の諸社も戦時下に増産に励んだはずであるが、現預金の残高は増大傾向とはいきれず、むしろ年により大きく変動している。残高がその前後に比して突出している年は、払込徴収して未使用分が現預金に滞留したためである。たとえば電線（昭和一四、二〇年）、化学（二五、一九年）、機械（二五、一八、二〇年）、鉱業（二六、一七、一九年）は明らかに滞留といえる。

第三に、非生産部門の倉庫、大阪北港、ビルなどが資金的余裕を生じ、企業規模の割には比較的多くの現預金を擁している。とくに倉庫に強くあらわれている。

第四に、住友本社は昭和一五年以降にわかに預け金残高が増加しているが、内部資料によれば、日常的資金とは区別された「銀行特別預金」が大部分を占めている。

なお、傍系二社のうち、日本電気が昭和一五年以降多額の預け金を擁し、同社の軍需産業としての急発展と関連しているものと思われ、太平洋戦争期は金属に次ぐ大きな残高である。

そして第17表の預け金には、連系会社から住友本社への預け金も含まれている。それは内部資料によらない限り明らかにしない。幸い昭和一二一六年は内部資料によって判明するので、第18表の通り計算することがで

第18表 連系会社預け金 (単位:千円)

|   |    | 計<br>(A) | うち本社<br>(B) | 差 引    | B/A %  |
|---|----|----------|-------------|--------|--------|
| 昭 | 12 | 20,370   | 7,895       | 12,475 | 38.8   |
|   | 13 | 26,007   | 9,340       | 16,667 | 35.9   |
|   | 14 | 36,952   | 15,735      | 21,217 | 42.6   |
|   | 15 | 32,953   | 6,250       | 26,703 | 19.0   |
|   | 16 | 46,480   | 5,750       | 40,730 | 12.4   |
|   | 17 | 53,183   | (8,490)     | 44,693 | (16.0) |
|   | 18 | 78,490   | (7,429)     | 71,061 | (9.5)  |
|   | 19 | 84,041   | ?           | ?      | ?      |
|   | 20 | 131,407  | ?           | ?      | ?      |

(備考) 第17表、前掲拙著第179表(本社部門のみ)より作成。( )内は同第177表(住友本社全体)により参考表示。

きる。すなわち、連系会社の現預金のうち、住友本社に預けられた額の比重は、B/Aのごとく、三、四割から急低下していく。戦間期には預け先の大部分は本社であったから、戦時体制期ではまさに事情が一変し、本社以外——おそらく財閥内金融機関——への預け額が増大したことを示している。本社が連系会社の余裕金を吸上げ、不足会社へ投下する資金調節機能は後退し、各社の資金はおそらく財閥内金融機関に預けられたことになったと想像される。

次に、非営業的と推測される特殊目的の預託を検討しよう。第19表は各社の一般的預金とは区別されるべき預託分であるが、多くの場合、退職手当引当を目的としたものである。昭和一二(一九三七)年住友合資会社を株式会社に改組する際、住友全体の退職慰勞金規定が改正され、旧規定による清算払がおこなわれた。<sup>1)</sup>それまで社員は住友合資で一括採用され、各社に配属されても、退職金は本社で一元的に処理されていたが、改正後は各社で新たに退職手当金を積立てることになり、引当資産は一般預金とは区別し、銀行預金ないし金銭信託として企業外へ預託することになった。第19表にみる通り一二年以降各社の引当資産が漸増するのはそのためである。金属、電線は引当資産として指定金銭信託を選

第19表 住友系企業の特殊目的の預託

(単位：千円)

| 社名   | 金属                         | 電線      | 機械                        | 化学                         | アルミ         | 鉱業        | 四国中央         | 本社         | 計            | 日本電気  | 板硝子  |
|------|----------------------------|---------|---------------------------|----------------------------|-------------|-----------|--------------|------------|--------------|-------|------|
| 決算期  | 9月                         | 12月     | 12月                       | 12月                        | 12月         | 12月       | 12月          | 12月        |              | 11月   | 12月  |
| 計上科目 | 退職手当<br>積立金<br>引当金<br>信託預金 | 同左      | 退職手当<br>引当金<br>資産         | 退職手当<br>引当金<br>資産          | 退職手当<br>引当金 | 同左        | 退職手当<br>見返預金 | 信託勘定       | 納税準備<br>預金   | 同左    | 引当預金 |
| 昭 12 | 258                        | 37      | 9                         | 17                         | 1           |           |              | 242        | 564          |       |      |
| 13   | 715                        | 128     | 38                        | 67                         | 3           | 319       |              | 237        | 1,507        |       |      |
| 14   | 1,317                      | 220     | 69                        | 121                        | 8           | 578       |              | 217        | 2,530        |       |      |
| 15   | 2,042                      | 326     | 108                       | 187                        | 16          | 894       | 1            | 6,196      | 9,770        |       |      |
| 16   | 2,861                      | 434     | 153                       | 267                        | 22          | 1,218     | 2            | 190        | 5,147        |       |      |
| 17   | 4,019                      | 572     | 203                       | 362                        | 36          | 1,529     | 3            | 183        | 6,907        |       |      |
| 18   | 5,907                      | 720     | 265                       | 477                        | 44(9月)      | 1,835(6月) | 3            | 129        | 9,380        |       | 96   |
| 19   | 9,190(9月)                  | 865(9月) | 314                       | 1,053(3月)                  | 61(9月)      | 2,411(3月) | 3            | ?          | (13,897)(9月) | 1,520 | 40   |
| 20   | 9,092                      | 1,026   | 386                       | 944                        | 63          | 2,579     | 4            | ?          | (14,094)     | 5,080 | ?    |
| 内容   | 指定金銭<br>信託                 | 同左      | 指定金銭<br>信託及<br>特別当座<br>預金 | 指定金銭<br>信託<br>銀行預金<br>郵便貯金 | 不明          | 不明        | 不明           | 指定金銭<br>信託 |              |       |      |

(備考) 各社営業報告書により作成。

1920年以降の住友財閥の金額

扱したことは判明しているが、化学、機械のように指定金銭信託以外にも「銀行預金・郵便貯金」のように併記している例もあり、アルミ、鋳業、電力のごとく何を選んだか不明の場合もある。当時の一般的傾向からみて、退職手当引当資産として利廻りのよい指定金銭信託が選ばれる可能性が強く、第19表で明示されていなくとも引当資産の大部分は指定金銭信託と推測してよからう。なお、住友本社は昭和一五年のみなぜか異常に残高が多い。それ以外はとくに表示がないが、本社部門における退職手当引当資産と思われる。退職手当引当資産という特殊な性格上、各社の合計は蓄積が進み、安定的資金であることを示している。

## (2) 金融機関の預金等

戦時体制期における金融機関の預金等は、戦間期のそれと考察対象に変化がなく、第20表のごとく要約される。ただし、昭和一九、二〇年は大幅な決算期変更により合計値の意味が一層希薄になっている。

同表によれば、信託、生保、海上保険それぞれが、事業規模を拡大していることを反映してか、戦間期よりも預金残高を膨張させている。その中で信託、生保両社は預け先も知ることができるが、海上保険だけは不明のままである。

住友信託の場合、第21表にみる通り基本的には戦間期と事情が変らない。すなわち、住友銀行と日銀でほとんどを占め、住友支配下の銀行にわずかな残高があるという構成である。戦間期と異なるのは、もはや横浜正金銀行への預け金はなく、通知預金はあれば住友銀行となったこと、住友支配外の地方銀行にも預けるケースが生じたことである。佐賀百六、三州平和、豊前、三重は住友の支配銀行であるが、住友信託本店取引の神戸銀行、福岡支店取引の東海、愛知県農工の諸行は地場の必要によるものと考えられる。しかし金額的にはわずかである。したがって第21表にみる通り戦時体制期を通じて同社預金の七〇八割が住友銀行におかれ、日銀を加えれば九八%

第20表 住友系金融機関の預金（戦時体制期）

（単位：千円）

|      | 住友信託          |               | 住友生命<br>(12月) | 扶桑海上<br>(12月) | 計<br>(A) | 住友銀行以外へ預金<br>(B) |      | A - B = C | C / A % |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------|------------------|------|-----------|---------|
|      | 固有勘定<br>(11月) | 信託勘定<br>(11月) |               |               |          | 住友信託             | 住友生命 |           |         |
| 昭 12 | 1,329         | 7,380         | 2,283         | 3,120         | 14,112   | 1,751            | 358  | 12,003    | 85.1    |
| 13   | 1,247         | 6,870         | 2,664         | 3,476         | 14,257   | ?                | 363  | ?         | ?       |
| 14   | 1,502         | 9,482         | 2,539         | 4,855         | 18,378   | ?                | 345  | ?         | ?       |
| 15   | 2,352         | 10,509        | 6,414 ×       | 5,026         | 24,301   | 3,846            | 519  | 19,936    | 82.0    |
| 16   | 887           | 7,416         | 8,302 ×       | 6,374         | 22,979   | 2,170            | 369  | 20,440    | 89.0    |
| 17   | 928           | 7,299         | 6,967 ×       | 6,609         | 21,803   | 1,615            | 449  | 19,739    | 90.5    |
| 18   | 1,673         | 11,157        | 5,840 ×       | 8,883         | 27,553   | ?                | ?    | ?         | ?       |
| 19   | 2,167 (9月)    | 8,948 × (3月)  | 8,700 × (3月)  | 17,634        | 37,449   | ?                | ?    | ?         | ?       |
| 20   | 4,007 (9月)    | 5,977 × (3月)  | 41,607        | ?             | (51,591) | ?                | ?    | ?         | ?       |

（備考） 住友信託は業務報告書、他社は事業報告書より計算のうえ作成。

以上という集中でありであった。

次に住友生命の場合も基本的に変っていないかった。第22表にみる通り、住友銀行への預け金が続いている。やや詳細に指摘すれば、第一に、定期預金の他行分散が弱められ、行数も減り、一行当り金額も小さくなったこと、第二に、通知預金が住友一行で、かつ昭和一五年以降多額であること、第三に、戦間期より住友銀行への集

第21表 住友信託の預金先（戦時体制期）

（単位：千円）

|                  | 銀 行 名     | 昭12/11 | 13/11 | 14/11  | 15/11  | 16/11  | 17/11  |
|------------------|-----------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 信<br>託<br>勘<br>定 | 住 友銀行     | 6,230  |       |        | 7,670  | 5,360  | 5,763  |
|                  | 日 本 "     | 1,140  |       |        | 2,766  | 1,900  | 1,364  |
|                  | 佐 賀 百 六 " | 5      | 不     | 不      | 19     |        |        |
|                  | 三 州 平 和 " | 3      |       |        | 6      | 23     | 24     |
|                  | 豊 前 "     | 4      |       |        | 35     | 12     | 42     |
|                  | 十 七 "     |        |       |        | 13     | 24     | 28     |
|                  | 東 海 "     |        |       |        |        | 76     | 18     |
|                  | 愛知県農工 "   |        |       |        |        | 10     | 18     |
|                  | 三 重 "     |        | 詳     | 詳      |        | 11     | 16     |
|                  | 神 戸 "     |        |       |        |        |        | 25     |
| 固<br>有<br>勘<br>定 | 住 友銀行     | 729    |       |        | 1,346  | 773    | 851    |
|                  | 日 本 "     | 600    |       |        | 1,007  | 114    | 76     |
|                  | 神 戸 "     |        |       |        |        |        | 1      |
|                  | 東 海 "     |        |       |        |        |        | 1      |
|                  | 愛知県農工 "   |        |       |        |        |        | 0.4    |
| 合 計 (A)          |           | 8,710  | 8,117 | 10,984 | 12,862 | 8,303  | 8,228  |
| 住友銀行 (B)         |           | 6,959  |       |        | 9,016  | 6,133  | 6,613  |
| そ の 他            |           | 1,751  |       |        | 3,846  | 2,170  | 1,615  |
| B/A (%)          |           | (79.9) |       |        | (70.1) | (73.9) | (80.4) |

（備考） 同社業務報告書より計算のうえ作成。

1920年以降の住友財閥の金融

第22表 住友生命の預金先（戦時体制期）

（単位：千円）

|          | 銀行名     | 昭12    | 13     | 14     | 15     | 16     | 17     |
|----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 定期       | 住友銀行    | 750    | 830    | 900    | 930    | 970    | 1,000  |
|          | 三井 "    | 50     | 50     | 50     | 50     | 50     | 50     |
|          | 三菱 "    | 50     | 50     | 50     | 50     | 50     | 50     |
|          | 三和 "    | 50     | 50     | 50     | 50     | 50     | 50     |
|          | 神戸 "    | 10     | 10     | 10     | 10     | 10     | 10     |
|          | 三州平和 "  | 30     | 30     | 30     | 30     | 30     | 30     |
|          | 佐賀百六 "  | 60     | 30     | 30     | 30     |        |        |
|          | 豊前 "    | 60     | 60     | 60     | 60     | 60     | 60     |
|          | 計       | 1,060  | 1,110  | 1,180  | 1,210  | 1,220  | 1,250  |
| 通知       | 住友 "    | 950    | 1,150  | 900    | 4,300  | 6,200  | 4,650  |
| 特別<br>当座 | 住友 "    | 11     |        | 5      | 1      | 26     | 78     |
|          | その他 "   | 6      | 14     | 6      | 1      |        | 9      |
|          | 計       | 17     | 14     | 11     | 2      | 26     | 87     |
| 当座       | 住友 "    | 214    | 321    | 389    | 665    | 738    | 790    |
|          | その他 "   | 43     | 70     | 59     | 238    | 119    | 190    |
|          | 計       | 256    | 391    | 448    | 902    | 857    | 980    |
| 合計       | (A)     | 2,283  | 2,664  | 2,539  | 6,414  | 8,302  | 6,967  |
| うち       | 住友 (B)  | 1,925  | 2,301  | 2,194  | 5,896  | 7,934  | 6,518  |
|          | その他 "   | 358    | 363    | 345    | 518    | 368    | 449    |
|          | B/A (%) | (84.3) | (86.4) | (86.4) | (91.9) | (95.6) | (93.6) |

（備考） 同社事業報告書より計算のうえ作成。

第23表 住友系金融機関の金銭信託（戦時体制期）

（単位：千円）

|      | 住友生命       | 扶桑海上       | 計<br>(A) | 三井信託<br>へ預託<br>(B) | A - B = C | C / A (%) |
|------|------------|------------|----------|--------------------|-----------|-----------|
| 昭 12 | 300        | 263        | 563      | 100                | 463       | 82.2      |
| 13   | 350        | 268        | 618      | 100                | 518       | 83.8      |
| 14   | 350        | 300        | 650      | 100                | 550       | 84.6      |
| 15   | 350        | 340        | 690      | 100                | 590       | 85.5      |
| 16   | 900        | 425        | 1,325    | 100                | 1,225     | 92.5      |
| 17   | 1,100      | 580        | 1,680    | 100                | 1,580     | 94.0      |
| 18   | 1,100      | 717        | 1,817    | 100                | 1,717     | 94.5      |
| 19   | (3月) 1,124 | (3月) 4,357 | 5,481    | ?                  | ?         |           |
| 20   | (3月) 1,124 | ?          | ?        |                    | ?         |           |

（備考） 各社事業報告書より計算のうえ作成。

中度が高まり、九割をこえていること、などである。

以上のことから、戦時体制期における住友系金融機関に住友銀行以外への預け金が存することが判明したので、判明分だけでも控除してみたのが、前掲第20表の右側である。その結果は、預け金のうち八〇〜九〇％程度が住友銀行への預け金であることを示している。

最後に、住友系金融機関による金銭信託を付言すれば、第23表のごとくである。住友生命分には三井信託への委託一〇万円が含まれ、昭和一九二〇年は「三社八口<sup>(2)</sup>」との記載があるので、住友信託以外への委託があったことが判明している。扶桑海上はその内訳が不明であるため、その金銭信託がすべて住友信託への委託と仮定すると、第23表のC欄が住友信託への上限値となる。また、生命、海上保険とも太平洋戦争期から金銭信託が増加し、運用態度の変化を窺わせる。

(3) 住友系金融機関預金等に占める住友系企業の比重  
まず、財閥内企業の預金に住友銀行の全預金に占める比重を試算すれば、第24表の通りである。その比重（A

第24表 住友銀行預金に占める住友系企業の比重 (戦時体制期)

(単位：千円)

|      | 本社・<br>連系会社 | 金融機関   | 小計<br>(A) | 住友銀行預金<br>(B) | A/B<br>(%) | 住友銀行以外へ預金<br>連系会社のうち本社へ<br>預け金 | 金融機関の<br>うち他行へ<br>預け金 | A-C=D    | D/B<br>(%) |
|------|-------------|--------|-----------|---------------|------------|--------------------------------|-----------------------|----------|------------|
| 昭 12 | 25,687      | 14,112 | 39,799    | 1,152,222     | 3.5        | 7,895                          | 2,109                 | 29,795   | 2.6        |
| 13   | 32,496      | 14,257 | 46,753    | 1,458,522     | 3.2        | 9,340                          | ?                     | ?        | ?          |
| 14   | 40,532      | 18,376 | 58,910    | 1,955,659     | 3.0        | 15,735                         | ?                     | ?        | ?          |
| 15   | 49,157      | 24,301 | 73,458    | 2,445,153     | 3.0        | 6,250                          | 4,364                 | 62,844   | 2.6        |
| 16   | 67,936      | 22,979 | 90,915    | 3,007,460     | 3.0        | 5,750                          | 2,539                 | 82,626   | 2.7        |
| 17   | 75,064      | 21,803 | 96,867    | 3,529,740     | 2.7        | (8,490)                        | 2,064                 | (86,313) | (2.4)      |
| 18   | 97,531      | 27,553 | 125,084   | 4,344,439     | 2.9        | (7,429)                        | ?                     | ?        | ?          |

(備考) 第17, 18表, 第20~22表, 『住友銀行八十年史』巻末計数より計算のうえ作成。

／(B)は、三％台から下降して二％台になるが、戦間期の末頃は四％台であったから、次第に低下していることを意味する。預金額(A)自体は増加傾向にあるから、住友銀行預金(B)が急膨張したための低下とみることができよう。右の預金額(A)には、連系会社から住友本社に預けた分、金融機関が住友銀行以外に預けた分が含まれているから控除すると、前記の比重は二％台に修正される。しかもこの比重は、預け先不明分を住友銀行とみなしているから、上限値であって、実際はさらに若干下廻ると考えねばならない。

同時期における三菱財閥の場合、三菱系企業の預金が三菱銀行の全預金に占める比重は、一〇～一六％であっ

て、住友の場合よりはるかに高率である。その差は戦間期より一層拡大している。どこにその差の原因があるのか。

第一に、三菱の本社・分系会社の預金に三菱銀行以外が含まれている可能性である。資料的に実証不能のためその可能性を否定できないが、多額とは考えにくい。また、三菱の金融機関預金では東京海上、明治生命について三菱銀行以外を控除済みであるから、控除後はかなり実態——三菱銀行に近いと思われる。

第二に、両財閥系企業の本社・直系会社同志、金融機関同士の預金残高を比較すると、三菱は住友に対してそれぞれ二倍ないし三倍の規模である。同業種同士でみれば、三菱系企業の方が住友系企業よりも概して大規模であり（たとえば三菱重工業と住友金属、三菱鉱業と住友鉱業、東京海上と住友海上、明治生命と住友生命のごとく）、事業規模の大きいことが預金の多いことと関連があると思われる。

第三に、三菱銀行は昭和一八年に第百銀行を合併するまで、預金では住友より二〜四割少なかった。

以上のことは、戦間期から続いている事情であって、両財閥は一貫して預金面で大きな格差を持ち続けたのである。

次に、住友信託が財閥内企業からどれだけの金銭信託を吸収したかをみよう。第25表にみるごとく、判明した限りでは戦時体制期になってから増加がいちじるしい。とくに本社・連系会社の増加が注目されるが、退職手当引当資産としての積み増が主因であって、戦時下の事業拡大→人員膨張、勤続年数の増加を反映しての加速であろう。しかし住友信託の金銭信託全体に占める比重はまだまだ驚くほど小さい。それでも戦間期の一%未満からみれば、戦時体制期に一〜二%になったことは注目すべき変化といえよう。他信託会社に預託している可能性が第25表に示された以上にある一方、連系会社の退職手当引当資産のうち、不明分を預金に分類したものが金銭

第25表 住友信託の金銭信託に占める住友系企業の比重（戦時体制期）

（単位：千円）

|      | 本社・<br>連系会社 | 金融機関  | 小計<br>(A) | 住友信託<br>金銭信託(B) | A/B (%) | 金融機関の<br>うち他信託<br>へ委託(C) | A - C = D | D/B |
|------|-------------|-------|-----------|-----------------|---------|--------------------------|-----------|-----|
| 昭 12 | 564         | 563   | 1,127     | 344,254         | 0.3     | 100                      | 1,027     | 0.3 |
| 13   | 1,507       | 618   | 2,125     | 384,167         | 0.6     | 100                      | 2,025     | 0.5 |
| 14   | 2,530       | 650   | 3,180     | 431,441         | 0.7     | 100                      | 3,080     | 0.7 |
| 15   | 9,770       | 690   | 10,460    | 468,081         | 2.2     | 100                      | 10,360    | 2.2 |
| 16   | 5,147       | 1,325 | 6,472     | 532,857         | 1.2     | 100                      | 6,372     | 1.2 |
| 17   | 6,907       | 1,680 | 8,587     | 602,273         | 1.4     | 100                      | 8,487     | 1.4 |
| 18   | 9,380       | 1,817 | 11,197    | 672,226         | 1.7     | 100                      | 11,097    | 1.7 |

（備考）第19、23表および『住友信託銀行五十年史』別巻計数より計算のうえ作成。

信託である可能性もある。差引して後者の要因の方が強いから、D/Bは多少上昇するかも知れない。

三菱との比較では、きわめて格差が大きい。同時期の三菱信託では、財閥内依存度が九〇一二％であって、預金での格差より一段と大きい。ここでも両財閥の格差の説明は、預金で試みた要因と共通する。

（1）『住友銀行八十年史』三四～五頁参照。

（2）住友生命の第三八、三九回「報告書」の財産目録（いずれも三月末）による。

第26表 住友系企業の社債

(単位:千円)

| 社名<br>(決算期) | 金 属<br>(9月)  | 電 線<br>(12月) | 化 学<br>(12月) | 四国中央<br>(12月) | 計         | 日本電気<br>(11月) |
|-------------|--------------|--------------|--------------|---------------|-----------|---------------|
| 昭 12        |              |              |              |               | —         | —             |
| 13          |              |              |              |               | —         | —             |
| 14          |              |              | 10,000       |               | 10,000    | 20,000        |
| 15          |              |              | 20,000       | 10,000        | 30,000    | 20,000        |
| 16          | 50,000       |              | 19,800       | 10,000        | 79,800    | 19,400        |
| 17          | 125,000      | 10,000       | 19,400       | 9,700         | 164,100   | 18,600        |
| 18          | 164,600      | 10,000       | 33,600       |               | (217,900) | 27,800        |
| 19          | 221,900      | 9,600        | 66,050       | (3月) 8,800    | 306,350   | (9月) 27,200   |
| 20          | (3月) 234,400 | (3月) 9,400   | (6月) 65,400  | (3月) 8,200    | 317,400   | (3月) 26,800   |

(備考) 各社営業報告書より作成。

## (三) 借入等

戦時体制期の借入等は、太平洋戦争期、とくに敗戦に近づくにつれ、急膨張をとげる。しかし以下の諸表にみるごとく、決算期の変更が相次ぎ、同一基準による全体像の把握が一層困難であって、急膨張の正確な姿が描き切れない。また、戦時末期はすでに預金等でみた通り、計数自体が入手できない場合すらある。以下は、かかる事情を承知の上での概要把握である。

## (1) 社債

戦時体制期には連系会社四社(金属、電線、化学、電力)と日本電気が社債を発行し、金属、化学は大量発行を記録している(第26表)。いうまでもなく軍需生産遂行のための巨額な資金調達の一環であるが、住友系の軍需会社すべてが社債に依存したわけではない。すなわち、資金調達の必要上、株式公開に踏切った金属、化学、電線が広く投資家を求めて社債にも依存したことを示している。すでに株式を分散している日本電気も同様にみて差支えない。四国中央電力は株式公開会社ではないが、同

1920年以降の住友財閥の金融

第27表 住友系企業の社債銘柄別

(単位:千円)

| 銘 柄           | 発行高    | 発 行 日      | 発行<br>価 格   | 利率   | 引 受 会 社    | 受託会社   |
|---------------|--------|------------|-------------|------|------------|--------|
| 住友化学工業 1 回い号  | 10,000 | 昭14. 1. 25 | 100円        | 4.3% | 住友, 興銀, 住信 | 住信     |
| " ろ号          | 10,000 | 15. 10. 25 | "           | "    | " " " "    | "      |
| 2 回い号         | 15,000 | 18. 9. 25  | "           | "    | 9 行, 5 信託  | 住友, 住信 |
| " ろ号          | 25,000 | 19. 11. 25 | "           | "    | " "        | "      |
| 四国中央電力 1 回い号  | 10,000 | 15. 3. 1   | 円銭<br>99.50 | "    | 住友, 興銀, 住信 | 住信     |
| 住友金属工業 1 回い号  | 20,000 | 16. 3. 20  | 100円        | "    | 8 行, 4 信託  | 住友, 住信 |
| " ろ号          | 20,000 | 16. 5. 26  | "           | "    | " "        | "      |
| " は号          | 10,000 | 16. 8. 15  | "           | "    | " "        | "      |
| " に号          | 15,000 | 16. 12. 1  | "           | "    | " "        | "      |
| 2 回い号         | 20,000 | 17. 2. 25  | "           | "    | " "        | "      |
| " ろ号          | 20,000 | 17. 5. 25  | "           | "    | " "        | "      |
| " は号          | 20,000 | 17. 8. 25  | "           | "    | " "        | "      |
| " に号          | 20,000 | 18. 2. 25  | "           | "    | 11行, 5 信託  | "      |
| 3 回い号         | 20,000 | 18. 6. 25  | "           | "    | 9 行 "      | "      |
| " ろ号          | 20,000 | 18. 11. 25 | "           | "    | " "        | "      |
| " は号          | 20,000 | 19. 1. 25  | "           | "    | " "        | "      |
| " に号          | 20,000 | 19. 6. 26  | "           | "    | " "        | "      |
| " は号          | 15,000 | 20. 2. 26  | "           | "    | " 6 信託     | "      |
| " へ号          | 5,000  | 20. 4. 28  | "           | "    | " "        | "      |
| 住友電気工業 1 回い号  | 10,000 | 16. 9. 25  | "           | "    | 住友, 興銀, 住信 | 住友, 住信 |
| " ろ号          | 20,000 | 20. 5. 28  | "           | "    | 9 行, 5 信託  | "      |
| 日 本 電 気 1 回い号 | 10,000 | 13. 11. 1  | "           | "    | 住友, 興銀, 住信 | 興銀     |
| " ろ号          | 10,000 | 14. 1. 25  | "           | "    | " " " "    | "      |
| 住友通信工業 2 回い号  | 10,000 | 18. 9. 20  | "           | "    | 9 行, 5 信託  | 住友, 興銀 |

(備考) 1. 興銀『社債一覧』より作成。

2. 期限はすべて10年。

3. 8 行は, 住友, 興銀, 第一, 三井, 三菱, 安田, 第百, 三和  
 9 行は, 住友, 興銀, 帝国, 三菱, 安田, 三和, 野村, 東海, 神戸。  
 11行は, 上記 8 行に野村, 東海, 神戸。  
 4 信託は, 住友, 三井, 三菱, 安田, 5 信託は, 上記 4 信託に三  
 和。ただし, 住友電工の 5 信託は住友, 三井, 三菱, 安田, 第一。  
 6 信託は, 住友, 三井, 三菱, 安田, 三和, 第一。

社も電力需要家、生保筋に株式を分散し、閉鎖的出資関係の枠からすでに外れている。逆に純然たる閉鎖的出資関係を維持した会社で社債を発行したものはない（戦間期の住友倉庫が例外）。

これら社債発行は、第27表にみる通り敗戦時までに金属で一四回、計二億四、五〇〇万円、電線で二回、計三、〇〇〇万円、化学で四回、計六、〇〇〇万円、電力一回一、〇〇〇万円、日本電気で三回、計三、〇〇〇万円を数えた。すべてが期間一〇年、ほとんどが額面一〇〇円、年四・三％であり、物上担保附社債のため、担保権の受託は住友銀行、住友信託の場合が多く、引受は住銀、住信、興銀のケースが通常であったが、太平洋戦争ごろから銀行・信託十数行へと拡大されている。したがって住友銀行・信託が社債引受の結果、かなりの社債所有はあったと想像されるが、<sup>1)</sup>他行を加えての引受の分散が両社の負担を軽減したことは間違いない。要するに、財閥外からの資金導入に社債発行が役立っていることはほぼ確実である。

## (2) 借入金・支払手形等

次に各社の借入金・当座借越を整理したのが第28表であり、支払手形・割引手形等を整理したのが第29表である。両表を重ねてみると、借入金と支払手形の区別について、次のようなコメントが可能であろう。

住友金属は昭和一五年まで支払手形に依存していたが、一五年に長期借入金を計上、一六年から支手をやめ、長期・短期借入金の二本建となっている。このことは、変更前の支手が短期借入金であったこと、あるいは長短期別の意識はないが支手が実質上借入金であった証拠ではないか。電線では一四年まで借入金はなく支手だけ、一五年から支手がなく借入金だけであり、科目変更した公算が大きい。逆に化学では一四年まで借入金と支手があり、一五年から借入金に一本化されたとみられる。鉱業は一三年まで小額の借入金があったが、一四年に借入金と支手が並用され、一九年に長短借入の二本建になったとき、支手が短期借入金に科目変更したとみられる。

1920年以降の住友財閥の金融

第28表 住友系企業の借入金（戦時体制期）

（単位：千円）

| 社 名<br>(決算期) | 金 属<br>(9月)     | 電 線<br>(12月)    | 化 学<br>(12月)    | 機 械<br>(12月)    | アルミ<br>(12月)   | 満 洲 鋼 管<br>(12月) |              |
|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|--------------|
| 昭 12         |                 |                 | 1,100           | 1,470           | 1,230          |                  |              |
| 13           |                 |                 | 3,000           | 850             | 2,040          | 4,200            |              |
| 14           |                 |                 | 1,300           | 1,050           | 4,000          | 22,600           |              |
| 15           | (長)<br>10,000   |                 | 20,985          | 9,000           | 13,920         | 21,973           |              |
| 16           | 15,000          | (短)<br>72,100   | 21,046          | 23,130          | 7,620          | 17,000           | 23,693 銀行勘定  |
| 17           | 26,500          | 92,100          | 31,222          | 36,000          | 13,770         | 14,700           | 25,173 2,049 |
| 18           | 33,500          | 130,500         | 64,011          | 59,100          | 16,360         | 31,700           | 33,573 3,441 |
| 19           | 157,000         | 218,500         | 97,432          | 138,490         | 27,380         | 18,800           | 41,063 5,000 |
| 20           | (3月)<br>440,500 | (3月)<br>335,000 | (3月)<br>155,049 | (3月)<br>191,160 | (3月)<br>33,685 | (3月)<br>28,410   | ? 銀行勘定       |

|      | 鉱 業<br>(12月)      | 倉庫<br>(12月)   | 四国中央電力<br>(12月) | 大阪<br>北港<br>(12月) | ビル<br>(12月) | 計             | 日本電気<br>(11月)   | 板硝子<br>(12月)   |
|------|-------------------|---------------|-----------------|-------------------|-------------|---------------|-----------------|----------------|
| 昭 12 | 374               | 4,180         | 3,000           | (短)<br>990        | 188         | 4,602         | 17,134          | 28,780         |
| 13   | 415               | 2,480         | 5,700           | 640               | 115         | 3,581         | 23,021          | 27,320         |
| 14   | 7,459             | 2,180         | 5,800           | 7,750             | 39          | 3,259         | 55,437          | 26,685         |
| 15   | 12,730            |               |                 | 8,400             |             | 2,940         | 99,948          | 32,969 150     |
| 16   | 12,763            |               |                 | 15,060            |             | 2,919         | 210,331         | 43,612 2,538   |
| 17   | 13,549            |               |                 | 3,430             |             | 2,902         | 261,395         | 64,513 3,750   |
| 18   | (9月)<br>13,468    |               |                 |                   |             | 2,889         | (388,542)       | 112,709 4,000  |
| 19   | (長)(9月)<br>64,107 | (短)<br>72,093 |                 | (3月)<br>5,830     |             | (3月)<br>3,486 | (9月)<br>105,925 | (9月)<br>8,673  |
| 20   | 90,387            | 58,974        |                 | (3月)<br>4,960     | 3,374       | (1,341,499)   | (3月)<br>165,242 | (9月)<br>10,687 |

（備考） 各社営業報告書より作成。（長）は長期借入金，（短）は短期借入金。

第29表 住友系企業の支払手形等（戦時体制期）

（単位：千円）

|     | 金属<br>(9月) | 電線<br>(12月) | 化学<br>(12月) | 満洲<br>鋼管<br>(12月) | 鋁業<br>(12月) | 本社<br>(12月)   | 計       | 板硝子<br>(12月) |
|-----|------------|-------------|-------------|-------------------|-------------|---------------|---------|--------------|
| 昭12 | 7,174      |             | 1,100       |                   |             | (割)<br>24,400 | 32,674  | 115          |
| 13  | 10,400     | 5,000       | 4,220       |                   |             | (支)<br>9,000  | 63,500  | 26           |
| 14  | 29,400     | 7,000       | 7,000       |                   | 7,200 (割)82 | 9,000         | 82,900  | 8            |
| 15  | 26,500     |             |             |                   | 30,675      | 掛買及           | 148,600 | 205,775      |
| 16  |            |             |             |                   | 41,170      | 支払手形          | 169,955 | 211,125      |
| 17  |            |             |             |                   | 43,320      | 192,186       |         | 235,506      |
| 18  |            |             |             | 412<br>(9月)       | 57,230      | 245,267       |         | 302,909      |
| 19  |            |             | 126         | 80<br>(9月)        |             | ?             |         |              |
| 20  |            |             |             |                   |             | ?             |         |              |

（備考） 各社営業報告書、本社は前掲拙著第175表、第177表より作成。

（割）は割引手形、とくに断らない限り支払手形。

このような諸事實は、これまで指摘してきた多くの場合、支手は実質上借入金である、という説明を裏付けるものではないか。

また、住友本社でも類似した問題がある。第29表にみる通り本社は割引手形で多額の資金を調達しており、一三、一四年は支払手形が並用されている。依拠した資料が異なるため（本社部門だけでなく住友本社全体）、一七、一八年は「掛買及支払手形」<sup>(2)</sup>の名称が使われているが、割引手形と支払手形はともに事実上借入金と思われる。なぜならば、金額の連続性から両者は同範疇と考えられ、内部資料では割引手形が銀行あるいは信託からの借入金と表示されているからである。

さらに付言すれば、金属、鋁業両社で借入金が長短に分離されていることはすでにみたが、満洲鋼管でも借入金と銀行勘定（当座借越と思われる）に、また四国中央電力も借入金と長、短に分離している。要するに、住友財閥全体としても勘定科目が整備され、戦時末期までに事実上の借入金である支払手形がほぼ消滅

したということができよう。

さて、各社別にみた借入・支手等の特徴は次のように要約される。

第一に、軍需生産に直接・間接に関係する会社では、借入金・支手等の合計額が、戦時末期に向って大膨張となっている。もっとも象徴的なのは金属で、昭和十二年九月末わずか七十七万円の支手残高が、二〇年三月末には長短借入金合計七・八億円である。同時点で一億円をこえたのは、電線、化学、鋁業、住友通信工業（日本電氣）と住友本社であり、機械、アルミ、満洲鋼管も三〇五、〇〇〇万円の借入金を要するほどであった。傍系の板硝子のみ平和産業のゆえに、製造部門のうちではややすくない。

第二に、非生産部門は右の傾向と対照的であった。すなわち、倉庫と大阪北港は借入を返済し終って、一五年以降無借金会社となった。ビルも大規模ビルの建設が終わってから、既存借入は残っているものの、資金需要は弱かった。製造部門へ供給増をはかってきた四国中央電力では、社債発行により一五年に借入金は一時縮小、一六年に日本発送電に発電所を現物出資したことに関連して借入増をみたが、以後借入金は縮小し、軍需生産会社とは異なった動きを見せている。

第三に、財閥本社は年々資金調達規模を拡大している。株式会社改組しても敗戦近くまで増資をしなかった同社は、増大する資金需要——有価証券投資——傘下への払込を「割引手形」「支払手形」に依存せざるをえなかったからである。

### (3) 住友系金融機関貸出における住友系企業の比重

住友系金融機関四社の貸出合計は、第30表のように、戦時体制期を通じて六倍程度に膨張している。戦間期でみた通り、銀行・信託ではほとんどを占め、銀行の貸出増加はいちじるしく、約八倍であるが、信託のそれは三倍

第30表 住友系金融機関の貸出

(単位：千円)

|      | 住友銀行<br>(12月)  | 住友信託<br>(11月) | 住友生命<br>(12月) | 海上保険<br>(12月) | 計           |
|------|----------------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 昭 12 | 736,631        | 185,263       | 4,339         | 215           | 926,448     |
| 13   | 893,870        | 214,675       | 5,013         | 131           | 1,113,689   |
| 14   | 1,208,619      | 259,222       | 6,031         | 47            | 1,473,919   |
| 15   | 1,612,317      | 293,944       | 7,087         | —             | 1,913,348   |
| 16   | 1,912,417      | 305,807       | 9,174         | —             | 2,227,398   |
| 17   | 2,147,325      | 303,434       | 9,104         | —             | 2,459,863   |
| 18   | (9月) 2,813,118 | (9月) 311,383  | 13,897        | 91            | 3,138,489   |
| 19   | (9月) 4,143,461 | (9月) 427,768  | 16,466        | 1,518         | 4,589,213   |
| 20   | (3月) 5,761,715 | (3月) 503,884  | 29,953        | ?             | (6,295,552) |

(備考) 第15表と同様。

第32表 住友銀行貸出における住友系企業の比重 (20年8月)

(単位：百万円)

| 社 名     | 金 額   |
|---------|-------|
| 住友金属工業  | 806   |
| 住友本社    | 222   |
| 住友通信工業  | 163   |
| 住友電気工業  | 153   |
| 住友化学工業  | 148   |
| 住友鉱業    | 122   |
| 住友アルミ製錬 | 33    |
| 計 (A)   | 1,647 |
| 全貸出 (B) | 8,109 |
| A/B (%) | 20.3  |

(備考) 『住友銀行八十年史』表3-70と巻末計数より計算のうえ作成。

第31表 住友系金融機関の貸出に占める住友系企業の比重 (戦時体制期)

(単位：千円、%)

|      | 住友本社・連系会社の借入等 |              |            | 住友系金融<br>機関貸出<br>(B) | A/B     | (B)以外から<br>の借入等 |            | A-(C +<br>D) = E | E/B     | 住友本社<br>の借入等<br>(F) | E - F<br>= G | G/B     |
|------|---------------|--------------|------------|----------------------|---------|-----------------|------------|------------------|---------|---------------------|--------------|---------|
|      | 借入金・<br>銀行勘定  | 支払手形<br>割引手形 | 小計(A)      |                      |         | 住友本社<br>(C)     | その他<br>(D) |                  |         |                     |              |         |
| 昭 12 | 17, 134       | 32, 674      | 49, 808    | 926, 448             | 5. 4    | 3, 180          |            | 46, 628          | 5. 0    | 24, 400             | 22, 228      | 2. 4    |
| 13   | 23, 021       | 92, 120      | 115, 141   | 1, 113, 689          | 10. 3   | 3, 180          | 2, 400     | 109, 561         | 9. 8    | 72, 500             | 37, 061      | 3. 3    |
| 14   | 55, 437       | 142, 582     | 198, 019   | 1, 473, 919          | 13. 4   | 3, 180          | 13, 500    | 181, 339         | 12. 3   | 91, 900             | 89, 439      | 6. 1    |
| 15   | 99, 948       | 205, 775     | 305, 723   | 1, 913, 348          | 16. 0   | 1, 000          | 19, 940    | 284, 783         | 14. 9   | 148, 600            | 136, 183     | 7. 1    |
| 16   | 210, 331      | 211, 125     | 421, 456   | 2, 227, 398          | 18. 9   | 1, 000          | 28, 620    | 391, 836         | 17. 6   | 169, 955            | 221, 881     | 10. 0   |
| 17   | 261, 395      | (235, 506)   | (496, 901) | 2, 459, 863          | 20. 2   | 1, 000          | 42, 680    | (453, 221)       | (18. 4) | 192, 186            | (261, 035)   | (10. 6) |
| 18   | (388, 558)    | (302, 909)   | (691, 467) | 3, 138, 489          | 22. 0   | 1, 000          | 164, 930   | (525, 537)       | (16. 7) | 245, 267            | (280, 270)   | (8. 9)  |
| 19   | (849, 181)    | ?            | ?          | 4, 589, 213          | (18. 5) | ?               | ?          | ?                | ?       | ?                   | ?            | ?       |
| 20   | (1, 341, 499) | ?            | ?          | 6, 295, 552          | (21. 3) | ?               | ?          | ?                | ?       | ?                   | ?            | ?       |

(備考) 住友本社・連系会社の借入等は第28、29表、住友系金融機関貸出は第30表。

弱にすぎない(倍率だけなら生命も七倍)。とくに指定金融機関制度が実施された昭和一九(一九四四)年以降の銀行の貸出は驚くべき増加であった。このような背景の下で住友系企業の借入等は、四社合計のうちいかなる比重を占めたか。

第31表は決算期不揃いを承知のうえでの合計であるが、A/Bでみる通り昭和一二年はまだ5%の比重にすぎ

なかった。大雑把な計算が可能な一八年までに逐次上昇して二二％に達したと、一応試算される。この段階で三菱財閥における本社・分系会社借入等の三菱系金融機関貸出に対する比重と比較すると、格段の差がある。すなわち、三菱では同時期に三五％から四三・七％に高まり、次ぎに二五％に急低下している。一八年四月第百銀行を合併して貸出規模が急増したため、三菱系企業の比重が急低下したのであって、それを考慮すれば三・四割の比重が実態と思われる。とすれば住友は三菱より常に大差があり、戦時末期に依存度が上昇したとはいえ、なお半分以上の依存度であった。

内部資料によって判明する限り、住友系金融機関以外からの借入等を控除してみると、E/Bはやや下がるだけで、基本的推移はA/Bと変らない。住友本社からの借入は倉庫とビルにあったが小額であり、本社以外からの借入が急増していく。この内容は前著で明示したのでここでは繰返さないが、戦時金融金庫や帝国燃料からの借入が主であった。

また、住友財閥内の借入等の増加が、本社と連系会社のいずれに起因するかをみると、第31表のF欄（住友本社の借入等）とG欄（連系会社の借入等）にみるように、両者は並行し、日中戦争期では本社、太平洋戦争期では連系会社が多い。すなわち、連系会社はみずから住友系金融機関から資金調達し、本社は同じく住友系金融機関から資金調達して傘下会社への払込に依っていた。連系会社が借入等の形で住友系金融機関から直接的に資金を導入する金額は、住友系金融機関の方からみれば数％、せいぜい一〇％程度ということになる。もっとも戦時末期の計数が判明すれば、資金需給が急拡大しているのでその比重は高まっている可能性がある。

因みに、三菱の場合、三菱商事の支払手形が無視できぬほど多額であり、事実上の借入金とみなすには疑問があるので、その分を控除してみると、三菱系企業の借入等の三菱系金融機関貸出への依存は一〇・三二％の幅に

修正される。住友には三菱商事の支手に類するものはみあたらないので修正の必要がないが、それでも住友の五〇二％の比重（A/B）は三菱より依然として低水準といえよう。

なお、敗戦時の住友銀行だけについて、住友系企業向貸出残高が判明している。すなわち第32表にみる通り、連系会社に対し全貸出の二〇％強を当てている。第31表では昭和一九、二〇年ごろの状況を計数的に明らかにできなかったが、右の第32表から推測して二〇％前後とみてよからう。

（1）銀行・信託が発行当初、社債をどれだけ引受け（共同引受の場合は分担額も問題となる）、どのように時間をかけて投資家へ肩代りしていくのか、具体的な研究は寡聞にしてみあたらない。住友信託の場合のみ内部資料によってある程度判明するが、本稿では紙幅の余裕がないので他日検討したい。

（2）拙著、第一七七表。原資料は「實際報告書」ではなく、この両年は「会社経理状況報告書」。

（3）同右、第二四五、第二四六表を参照。

## 五　む　す　び

本稿の考察は、もちろん住友財閥の金融自体を説明することにあるが、三菱財閥との比較を念頭に出発したので、当然、比較についてもふれねばなるまい。まず、その前に分析結果を対比させておこう。

第一に戦間期について。住友銀行の預金における住友系企業の比重は、表面上、大正一三年までは一％前後、大正末から昭和八年で三％前後、以降は四％と試算される。しかしその中には住友系企業から住友合資会社への預け金も混在しているので、内部資料によって修正（除去）すると、三％前後は一％台へと縮小する。同時期の三菱が八〜一〇％水準にあり、高い時は一二、三％であったことを想起すると、住友の比重はきわめて低水準で

ある。住友信託の金銭信託における住友系企業の比重も、表面上は〇・四％以下で、内部資料で修正すると一層小さくなる。三菱信託のそれが表面上五・八％であるから、ここでも同様に住友は極端に低水準である。

次に、住友系金融機関の貸出における住友系企業の借入等の比重は、表面上、大正一〇～一三年に六・一〇％、大正一四～昭和二年に一％台へ低下、昭和三～八年は四・七％へ上昇、以後二％台へ低下という推移である。住友合資はか異質の借入等を内部資料で修正すると、右の水準は最大一％低下することになる。三菱の昭和三～七年のみ一〇％台、それ以外の時期は二〇％台、ときには三〇％台と比較すると、きわめて格差が大きい。

第二に戦時体制期について。住友銀行預金における住友系企業の比重は、表面上三％前後、修正後で二％台にすぎない。三菱では表面上一〇～一六％の水準である。住友信託の金銭信託における住友系企業の比重は、戦間期より上昇して一・二％程度、修正後も同様である。三菱信託のそれは戦間期より上昇して九・一二％となり、やはり預金と同じく格差がついたままである。

他方、住友系金融機関の貸出における住友系企業の借入等の比重は、表面上、五％から逐次上昇して二〇％台に乗るが、内部資料によれば、太平洋戦争期には非住友系からの借入等が急増するので、右の水準は若干下がる。三菱のそれは、表面上三〇～四〇％台が続ぎ、もし三菱商事の支払手形を借入金とはみなせないとして除外すると、当初一〇％から上昇して二〇～三〇％になったものと修正される。それでも住友より二倍近い高水準である。

それでは右に示した住友と三菱の格差について整理すれば次のごとくである。

① 財閥本社との関係 住友には本社が直系会社群に対して資金的調整機能を有していた。もともと戦時体制期にはその機能は弱化するが、具体的には子会社から余裕金を「預り金」として吸上げ、資金不足部門には貸付

をおこない、その分だけ銀行・信託の財閥内活動は狭められる。三菱ではその機能が弱く、子会社からの「預り金」も大正一一年以降急減するし、貸付も経営不振の三菱製鉄のみといって過言ではない。すなわち、その機能が弱い分だけ、銀行・信託依存の可能性を増す、といえよう。

② 財閥外との資金的関係 金融機関による預金等には財閥外への預託が確認され、この点では住友も三菱も共通である。直系の事業会社で財閥外への預託例は目下のところみだしえない。借入等の場合、財閥外依存は少ないがあることが確認され、戦時末期には興銀、戦時金融金庫など軍需融資にからんで増大する。興銀依存は三菱の方が事例・金額とも多い。要するに、企業の側からいえば、預金も借入も圧倒的に財閥内に依存するが、財閥外が皆無とはいえない。

③ 金融機関の財閥内依存度 住友は三菱より財閥預金等、借入等双方とも財閥内依存度がきわめて低い。基本的理由は、大雑把に言えば傘下企業の規模がそれぞれの業種において三菱の方が大きいことに求められる。三菱重工業と住友金属工業の差に象徴され、銀行・信託の規模は逆に住友の方がやや大きいため、分母が大きく、分子が小さいことが住友の低率につながる。やや細かくいえば、預金等において東京海上・明治生命が住友生命・扶桑海上より多額であり、退職手当引当基金を設立当初から受託する三菱信託に対し、制度発足の昭和一二年から始まる住友信託の遅れ、戦時体制下に社債依存を強める住友に対し、すくない社債発行にとどまり借入に依存する三菱（とくに三菱重工）、なども指摘できる。

最後に、本稿および続著で試みた分析方法についての見解である。財閥企業側の預金等、借入等を集計して、財閥金融機関の預・貸金と比較し、依存度を推計する方法は、上限値を知ることでは意味があり、水準の比較では有効と思われる。すなわち、本稿で指摘したように、右の表面的な試算ですら三菱と住友では大きな格差があ

ることを明示できたからである。しかし依存度の実像はどうか。住友では内部資料があるので、修正してみたが、依存度自体がもとと小さいこともあって、大きな修正とはならず、結論は不変である。それでは三菱が修正可能ならばどう変化するか。(イ)財閥としての財務政策が住友と大筋において共通するとすれば、三菱も小修正にとどまり結論を変えなくてすむ。(ロ)住友とは異質な財務政策であれば、次の点が問題となる。金融機関の行動は住友と類似性が強いし、財閥本社の預金、借入等は把握できているので、分系会社の行動に絞られる。すなわち、分系会社の財閥外依存度が大きいという証拠如何である。たしかに興銀依存は住友より大きいが、三菱と住友との大きな水準格差を証明できるだけの材料は目下のところみいだせない。その材料が得られて、三菱も住友と同じく財閥内依存度はきわめて低いのが実像、という結論になる可能性は小さい。あまりに格差が大きすぎるからである。むしろ両財閥の財閥内依存度が大きく喰違う体質の差に注目すべきであり、その理由を掘下げるべきであらう。